

「日本の祭り、年中行事および文化」 教案

〔前回の復習〕

〔今回の授業のねらい〕

祭りや行事を通じて日本の習慣や食文化に触れてほしい。学生に自分の国の祭りや行事を紹介してもらうことにより、国際文化交流の場にもなる。

〔解説と授業の展開〕

大きく二つに分ける：民間信仰を交えた伝統的な祭りと国民、地域住民のすべてが参加する記念・祝賀の行事

1. 近寄る祭り、行事

● 年末：天皇誕生日、クリスマス、大晦日

■ 12月23日：天皇誕生日

△ 平成元年（1989年）今の天皇の誕生日で決まる。→日本の年号

△ 当日、皇居で各省大臣や各国大臣を招く宴会。→各省庁と中国の各部

■ 12月25日：クリスマス

△ クリスマス・イブがもっと賑やか。→家族や恋人にプレゼント

△ 子供はサンタのプレゼントを期待。（6～8才まで？）

△ 11月後半からはクリスマス・セールも

* あなたの国では？

■ 12月31日：大晦日（おおみそか）

△ 除夜→人間には108煩惱があり、それを取り除くため全国の寺では鐘を108回鳴らす。→人々は、その音を聞きながら健康や長寿を願って、年越しそばを食べる。

* あなたの国では？

● 年始：お正月、成人式

■ 1月1日：お正月（元旦）

△ 日本人には最も大事な行事。→初詣→おせち料理→しめ飾り→門松

■ 1月第2月曜：成人の日

△ 国民の祝日の一つ→1948年に制定→20歳→選挙権→飲酒や喫煙

* あなたの国では？

2. 年中行事（主な行事）

■ 2月11日（1967年）の建国記念日→初代天皇の誕生日

■ 3月、4月の花見→桜の花→桜前線

■ 3月3日のひな祭り（女の子）5月5日も子供の日

■ 4月29日から5月5日までのゴールデンウィーク（緑の日、憲法記念日、子供の日）前後1週間から10日ほど休む

■ 7月7日の七夕（たなばた）→アルタイル（牽牛星）ベガ（織女星）

■ 8月中旬のお盆休み→月を観賞→盆踊り→15日前後1週間ほど休む。

■ 11月15日の七五三→子供の成長を祈る→男は3歳か5歳、女は3・7歳→

鶴や亀の描かれた袋に入った紅白の長い飴が買い与えられる→亀鶴長寿の象徴

*あなたの国では？

[授業のまとめ]

[参考文献]

・インターネットから検索

[レジュメ]

添付

[配布プリント]

「日本の祭り、年中行事及び文化」

「日本の祭り、年中行事および文化」レジュメ

〔前回の復習〕

〔本日の授業内容〕

1. 近寄る祭り、行事
 - ・ 天皇誕生日
 - ・ クリスマス
 - ・ 大晦日
 - ・ お正月
 - ・ 成人式

2. 年中行事（主な行事）
 - ・ カレンダーで見つける法定休日
 - ・ 地域を巡るまつり

3. あなたの国では？（学生に自分の国の祭りを2、3言わせる）

〔授業のまとめ〕



年末ークリスマス

Christmas・Xmas 12月25日
同義語・ノエル・降誕祭[こうたんさい]・聖誕祭[せいたんさい]

キリスト教徒の国では一般に「イエス・キリスト」の誕生をお祝いする日。日本ではクリスマスは恋人や友達と過ごし、お正月は家族と過ごすことが多いのに対して、欧米では反対にクリスマスは家族で過ごし、お正月は友達や恋人と過ごすことが多い。

【クリスマスイブはとても賑やかに】
日本のクリスマスは、一般に家族・恋人向けに、様々な催し物が行われる。11月末頃から、街はクリスマスカラーである赤・緑・白などの色とりどりの装飾品で飾り始められる。

【450年前に伝来】
フランシスコ・ザビエルとともに450年前に伝来し、明治後期にはキリスト教徒の行事という枠を超えて、日本文化となっていた。明治時代にクリスマスの商業宣伝が始まり、初期のプレゼントの定番は「歯磨粉」だった。

戦後、サンタクロースをヒントに「子供福袋」が登場し、この習慣は、次第に修正され、子供たちはクリスマスを「サンタが子供におもちゃをくれる日」と理解するようになる。戦後、GHQは、クリスマスにサンタの格好でキャンディを配ったり、パラシュートで空から舞い降りてくるなどイベントを開き人々に笑顔を与えた。物資の乏しかった時代、「愛を贈る日」として広がった。その後、日本の経済が上向きになり商業化をし始めた。



年末ー大晦日

< 掲示資料 (例) >

1年の最後の日を「大晦日[おおみそか]」または「大晦[おつごもり]」とも呼ぶ。「1年の最後の特別な末日」を表すため、末日を表す2つの言葉のそれぞれ「大」を付けて「大晦日」「大晦」と言う。

【家族揃って新年を迎える】
12月31日「大晦日」には1年の間に受けた罪や穢れ[けがれ]を祓うために、大祓い[おおはらい]が宮中や全国の神社で執り行われる。年越しの夜は除夜[じよや]ともいう。かつて、除夜は歳神様を迎えるため一晩中起きている習わしがあり、この夜に早く寝ると白髪になる、シワが寄るなどの俗信があった。



■年越しそば

年越しそばは江戸時代から食べられていた。金箔職人が飛び散った金箔を集めるのに蕎麦粉を使ったことから、年越し蕎麦を残すと翌年金運に恵まれれないと言われている。



■除夜の鐘

大晦日の夜ふけに、全国のお寺で鳴らされる108つの鐘を「除夜の鐘」という。108とは仏教思想に基づく百八煩惱を意味する。煩惱とは「心を惑わし、身を悩ませる」ものを言い、鐘をつくことでこれらの煩惱を一つ一つ取り除いて、清らかな心で正月を迎える。108回の最後の1回は年が明けてから突きます。これは、今年1年煩惱に惑わされないように、という意味が込められている。

年末—お正月

読み方:しょうがつ
 同義語:新春・年明け・初春・春・陽春・歳旦・年初・年初・年頭・1月・睦月
 関連語:元日・鏡開き・かまくら・大晦日・振袖・お雑煮・おせち・餅

正月とは本来、その年の豊穡(ほうじょう)を司る歳神様(としがみさま)をお迎えする行事であり、1月の別名。現在は、1月1日から1月3日までを三が日、1月7日までを松の内、あるいは松七日と呼び、この期間を「正月」と言う。

【最古の年中行事】

正月は、日本の行事の中で最も古くから存在すると言われている。「お盆」の半年後にやってくる正月は、本来お盆と同じく「先祖をお祀りする行事」。しかし、仏教が浸透しその影響が強くなるにつれて、お盆は仏教行事の盂蘭盆会(うらぼんえ)と融合して先祖供養の行事となり、正月は歳神を迎えてその年の豊作を祈る「神祭り」としてはっきり区別されるようになった。
 また、現在のようなお正月の行事(門松やしめ飾り、鏡餅などを飾ること)が浸透したのは、江戸時代に入り庶民にも手軽に物品が手に入るようになってから。

【霊に対する祝福の言葉】

1年の始めである正月は春の始まり、すなわち「立春」とも考えられており、人々は春の訪れがもたらす生命の誕生を心から喜んだ。「めでたい(芽出度い)」という言葉は「新しい春を迎え芽が出る」という意味がある。また新年に言う「明けましておめでとうございます」という言葉は、実は年が明け歳神様を迎える際の祝福の言葉だった。

年末—お正月

【歳神様を迎える日】

正月は家に歳神様をお迎えし、祝う行事。歳神とは1年の初めにやってきて、その年の作物が豊かに実るように、また、家族みんなが元気で暮らせる約束をしてくれる神様。正月に門松[かどまつ]やしめ飾り、鏡餅を飾ったりするのは、すべて歳神様を心から歓迎するため。
 祖先は人間が死ぬとその魂はこの世とは別の世界に行き、ある一定の期間が過ぎると個人の区別が無くなり「祖霊」という大きな集団、いわゆる「ご先祖様」になると信じられていた。

■門松の由来

お正月は本来、年神を迎えその年の豊作を祈る「神祭り」とされるもので、門松は古くは年神を家に迎え入れるための依代(よりしろ)とし神霊がおりてくる目標物と考えられ、玄関前などに飾る風習ができたといわれている。
 松は「待つ」にもつながり、竹は冬でも色濃くまっすぐに伸びる節があるので、門松にはけじめの意も込められている。

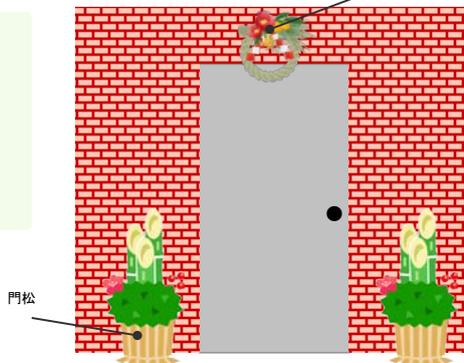
■門松の飾り方

正式な正月用門松は、松を中心にすえ3本または5本、7本の葉つきの竹を添え、すそに松の割り藁を並べ縄で3カ所を三巻き、五巻き、七巻きと節目を見せて七五三に結んだ形が正式。

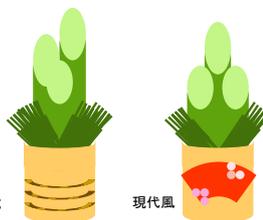
最近ではデザインや置き場所を重視しアレンジされたものも多い。

■お正月 玄関飾り

しめ飾り < 掲示資料 (例) >



門松

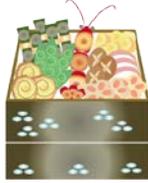


正式

現代風

年末—お正月（食べ物）

< 揭示資料（例） >



■おせち料理

正月に食べるお祝いの料理。「おせち」とは本来、暦上の節句のことを指す。おせち料理は“めでたさを重ねる”という意味で縁起をかつぎ、重箱に詰めて出される。おせちとはお節供【おせちく】の略で、年の始めにその年の豊作を祈って食べる料理や武家の祝い膳、新年を祝う庶民の料理などが混ざり合っただけ出来たもの。お正月に火を使うことをできるだけ避ける、という物忌みの意味も含んでいる。



■お雑煮

一年の無事を祈りお正月に食べる日本料理。沖縄を除く日本各地でお雑煮を食べる風習がある。餅の形やだし、具の種類にいたるまで、地方や家庭ごとに千差万別。餅は昔から日本人にとってお祝い事や特別の日に食べる「ハレ」の食べ物。そのため新年を迎えるにあたり、餅をついて他の産物とともに歳神様にお供えをした。そして元日にそのお供えをお下がりとして頂くのがお雑煮。お雑煮を食べる際には旧年の収穫や無事に感謝し、新年の豊作や家内安全を祈る。



■鏡餅

1月11日は「鏡開きの日」。今年1年の一家円満を願いながら、神様に供えるのが鏡餅。鏡餅は、大小の丸い餅を重ねて出来ており、橙【だいだい】、譲葉【ゆずりは】、昆布、裏白の葉などで飾られる。お餅は歳神様のご神体であると考えられ、餅は“望月【もちづき】(満月)”に通じ、その丸い形から家庭円満を象徴するとも考えられ、縁起物としてお正月に飾られるようになった。鏡開きの日には、飾っておいて硬くなったお餅をかなづちなどで叩き「開く」。鏡餅には歳神様が宿っているので、神様とも縁を切らないよう「割る」などとは言わず「開く」という。

日本を知るための 126 項目

目標：

学生との懇談・対話を通じスムーズな本講座への導入を図る。

学習内容：「日本を知るための 126 項目」の全項目の確認を行い、一面的になりがちな日本に対する印象を払拭し、多様な日本事情を紹介するとともに日本への関心を喚起する。

進め方・指導ポイント：

- 1 学生全員から選択理由、授業内容に対する希望を確認。学生のニーズを把握する。
- 2 126 項目を確認。学生が関心を持つ「トップ 10」を選択させる。
- 3 「トップ 10」を参考にしながら、日本列島の自然、地理、四季の変化とその影響を解説する。

珊瑚礁のある地域もあれば、流氷が流れ着く地域、豪雪地帯等があること、森林面積が国土の約 3 分の 2 を占めること、四季の変化、地震・台風・豪雨・豪雪・火山等の説明は比較的多様性を説明するのに有効。

ここでは、学生の知識を確認しつつ、日本の多様性を説明し講座に対する興味を喚起する。

使用教材：

「日本を知るための 126 項目」(プリント)

日本各地の風景写真(沖縄の珊瑚礁、北海道の流氷、豪雪地帯の風景、火山の写真等)

日本の四季の風景写真

テーマ：日本の歴史

目標：

日本の歴史・文化を学ぶ

学習内容：

大きく変化した時期に焦点を合わせに日本の歴史を学習する。

進め方・指導ポイント：

- 1 日本の歴史を簡単に紹介、特に海外からの文化を多く取り入れた遣隋使・遣唐使、戦国時代、明治維新、戦後等にスポットを当てる。
- 2 「明治維新」をグループ(3～4人)ごとに話し合う。グループの代表を決め、各グループで全員の発言をまとめて、発表。
- 3 グループごとの討議の結果を講師が比較解説した後、資料を通して懇談的に詳しく解説。
- 4 各自の受講感想を400字以内で作文し、提出。(翌週に返却)

使用教材：

日本史年表(簡単なもので可)

時代ごとの風物の写真・絵画等

時代ごとの代表的な建築物等の写真

日本の気候風土と年間行事

目標：

花見等の年間行事の紹介を通じ、日本の気候風土を学ぶ

学習内容：

花見をはじめ正月、花見、衣替え、お盆、月見、紅葉狩り等の年間を通じての行事を学習する。

また、これらの行事を通じ、日本の気候風土等を学ぶ。

進め方・指導ポイント：

- 1 ここでは日本の主な季節行事として花見を紹介。4月開講であれば実際に桜を見に行くのも有効。
- 2 「花見」についてグループ(3~4人)ごとに話し合う。グループの代表を決め、各グループで全員の発言をまとめて発表。
「なぜ花見に熱中するのか？」といったテーマが有効。
- 3 グループごとの討議の結果を講師が比較解説した後、資料を通して懇談的に詳しく解説。併せて、花見だけでなく、代表的な年間行事を説明する。
また、その背景となる四季の自然の移り変わり(桜前線、主な都市における気温変化等)、日本列島の位置(北京、ソウル、台北等との比較)や豪雪地帯の分布を説明し、日本列島の気候風土の理解を深める。
- 4 各自の受講感想を400字以内で作文し、提出。(翌週に返却)

使用教材：

年間の主な行事表

各種行事の写真(正月風景、花見、月見、盆踊り、秋祭り等)

日本列島桜前線図

主要都市の月別気温、降雨量等グラフ(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡、北京、ソウル、台北等)

世界地図

癒し文化「温泉」

目標：

主な「観光地」と日本の地理を学ぶ。

併せて「温泉」を題材に日本文化を考察する。

学習内容：

「温泉地」を始めとする主な名所・旧跡等、日本の地理を学ぶ。

またこれらを題材に日本について話し合う。

進め方・指導ポイント：

- 1 「温泉文化」を紹介。
- 2 「温泉」についてグループ(3~4人)ごとに話し合う。グループの代表を決め、各グループで全員の発言をまとめて発表。
「なぜ温泉に熱中するのか？」といったテーマも有効。
- 3 グループごとの討議の結果を講師が比較解説した後、温泉地の分布に加え、日本の主な観光地、名所・旧跡等を資料を通して懇談的に紹介・解説。
ここでは、史跡等の紹介を通じ、日本列島の地理、歴史とその関係を解説する。
- 4 各自の受講感想を400字以内で作文し、提出。(翌週に返却)

使用教材：

日本列島の主な温泉・火山地分布図

主な観光地・史跡（関西圏のみでも可）

日本の武道・芸道

目標：

日本の代表的な武道・芸道を知る。併せて日本文化についての考察をする。

学習内容：

華道、茶道等の芸道、剣道、柔道等の武道を紹介。

またこれらを題材に日本について話し合う。

進め方・指導ポイント：

- 1 代表的な「～道」と呼ばれるものについて、聞いたことがあるものを挙げてもらう。
それについて知識のある学生がいれば、簡単に説明してもらう。
- 2 グループで、「華道」と「フラワーアレンジメント」の違い、「柔道」と「レスリング」の違い、「香道」と「アロマテラピー」の違いなどについて考え、話し合わせる。
他にも、似ているが違うものを探させる。
剣道とフェンシング、アーチェリーと弓道など…。
- 3 グループの代表を決め、グループで考えた内容について発表させる。必要があれば講師が補う。
- 4 「～道」に共通しているものは何かを考えさせる。また、一般的には「～道」という名前では呼ばれてはいないが、それに通じるものを感じられるような例を挙げ、説明する。
(例：イチローのエピソード、「まんが道」というタイトルのマンガなどの紹介)
彼らが何を重視しているのかについて、理解を促す。
- 5 各自の感想を400字以内で作文し、提出。(翌週に返却)

使用教材：

冠婚葬祭

目標：

基本的な冠婚葬祭のマナーを学ぶ。併せて日本文化についての考察をする。

学習内容：

主に結婚式、葬式での服装、挨拶、各種袋(祝儀袋・香典袋等)の使い方等のマナーを学ぶ。
また、これらを題材に日本について話し合う。

進め方・指導ポイント：

- 1 冠婚葬祭、特に結婚式について紹介、服装や祝儀袋等を併せて学習する。
- 2 「結婚式」についてグループ(3~4人)ごとに話し合う。母国との比較も有効。
「祝儀袋」等に絞るのも有効。
グループの代表を決め、各グループで全員の発言をまとめて発表。
- 3 グループごとの討議の結果を講師が比較解説した後、資料を通して懇談的に詳しく解説。
結婚式だけでなく、儀式行事ごとに使用する祝儀袋、水引等も説明、これらの背景となる考え方も紹介する。
- 4 各自の受講感想を400字以内で作文し、提出。(翌週に返却)

使用教材：

祝儀・不祝儀袋(実物)

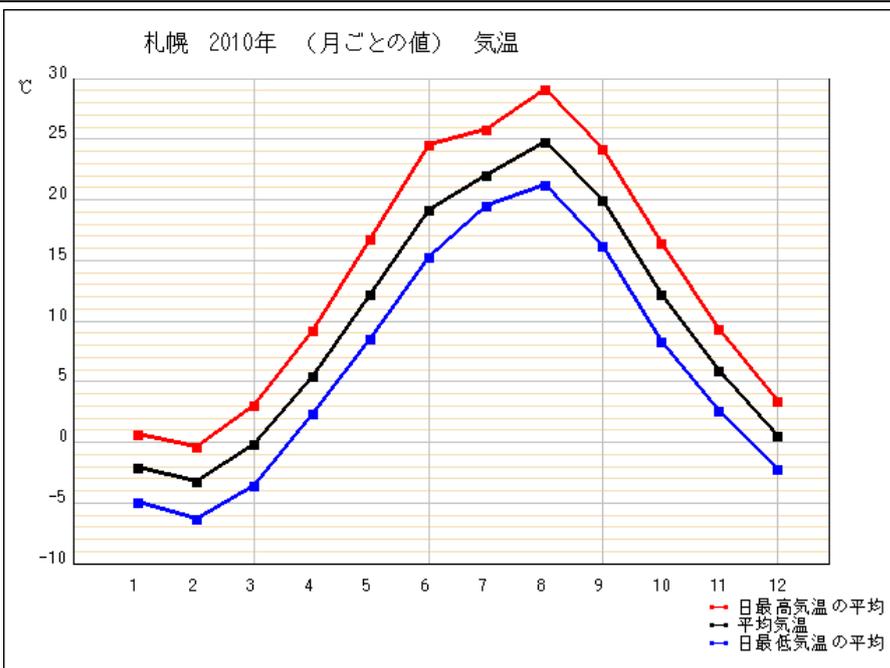
水引の解説プリント

動画(結婚式等)

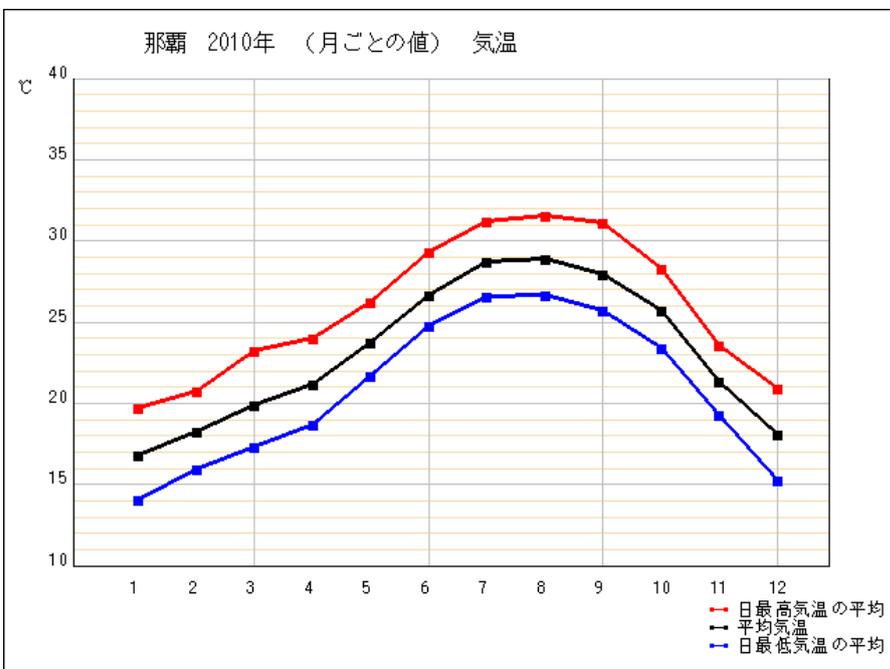
「日本と桜」

テーマ	日本と桜
内容	<p>: 日本人に愛される「桜」について。留学生に「日本のイメージは？」というアンケートをすると、必ず上位に入ってくる「桜」に関して講義する。日本の「四季」「気候」などの解説も行う。</p> <p>: 「日本の気候・四季」 日本は国土が小さいが、南北に細長く、日本の北と南では気候がかなり違う。北海道と沖縄の年間気温の表を使って、その違いを知ってもらおう。 学生に日本の四季「春・夏・秋・冬」の中でどの季節を楽しみにしているか意見を聞き、理由を発表してもらおう。</p> <p>①: 「日本の気候・四季」 北海道と沖縄の気温グラフを配布し、日本の北と南でどれくらい気候が違うかを見てもらい、その後、学生たちに日本のどの季節を楽しみにしているかをグループで話し合い、発表。 *→配布資料A「気候グラフ」(インターネットより) *→配布資料B「季節のタスクシート(グループワーク用)」 *→配布資料C「旅行パンフレット」(旅行社の無料パンフレット)</p> <p>②: 「日本人はなぜ桜が好きか」 インターネットから桜に関する記事を幾つか紹介し、日本人にとって「桜」がどれくらい身近かを感じてもらおう。 *→配布資料D</p> <p>: 「留学生の桜に対するイメージ」 学生に桜に対するイメージをアンケートし、日本人が持つ桜に対するイメージと比較させる。 *→配布資料E</p> <p>: 学生が持つイメージ きれい・浪漫がある・春といえば「桜」・祭り・日本の花で一番有名 など</p> <p>: 日本人が持つイメージ 春の象徴・日本人の精神の象徴(もののあはれ)・命が短い・花といえば「桜」・花見 など</p>

*配布資料A 「札幌と那覇の気温データ」



http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s1.php?prec_no=14&prec_ch=%90%CE%8E%EB%92n%95%FB&block_no=47412&block_ch=%8ED%96y&year=2010&month=&day=&view=g_tem 「気象庁ホームページ」より



http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s1.php?prec_no=91&prec_ch=%89%AB%93%EA%8C%A7&block_no=47936&block_ch=%93%DF%94e&year=2010&month=&day=&view=g_tem 「気象庁ホームページ」より

*配布資料B 「グループワーク用タスクシート」

	何をしたい？	どこに行きたい？	理由
春 	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	
夏 	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	
秋 	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	
冬 	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	

■質問 1:

桜と言えば、多くの方が「お花見」という言葉を連想するように日本人は古来より桜の花に親しんでいます。今年、皆さんはどのように桜を楽しみましたか？(あるいは楽しむ予定ですか?) 当てはまるものを選んでください。(複数可)

1位	近所の桜を見に行く	75.0%
2位	日帰り桜の名所に出かける	36.4%
3位	有名な桜の名所(桜百選など)に出かける	24.1%
4位	桜の名所で花見(酒盛り・食事など)をする	19.0%
5位	花見を主たる目的で泊りがけの旅行に行く	15.8%
6位	咲いていれば見る程度。ワザワザ出かけない	10.8%
7位	桜祭りなどのイベントに参加する	7.3%
8位	日帰り花見バスツアーに参加する	3.8%
8位	見に行きたかったがすでに散ってしまった	3.8%
10位	その他	0.9%
11位	全く興味なし。見たくない	0%

コメント:

3月になるとTVの桜前線の報道が気になるものです。桜が開花したと聞けば、ご近所の桜の木々はどうなっているのか見てみたくなりますよね。「近所の桜を見に行く」を選んだ方は、全体の75.0%もいらっしゃいました。次に多かったのは「日帰り桜の名所に出かける」で、36.4%。「有名な桜の名所(桜百選など)に出かける」が24.1%と続きました。これらを選ばれた方は、かなりのお花見好き。毎年いろんな名所に出かけていらっしゃることでしょう。ここまでしたら、相当の桜フリークと言えそうなのが「花見を主たる目的で泊りがけの旅行に行く」や「桜祭りなどのイベントに参加する」を選ばれた方々ではないでしょうか。「泊りがけの旅行に行く」と答えた方の多くは、「桜の名所に出かける」や「有名な桜の名所(桜百選など)に出かける」にもチェックを入れた方がほとんどでした。もっとも、花見は旅行に行くため、あるいはお酒を飲むための口実という方もいらっしゃるかも知れませんが。嬉しいことに、「全く興味なし」を選ばれた方は1人もいらっしゃいませんでした。

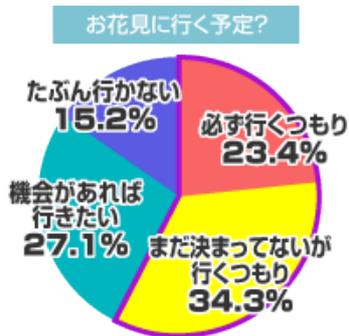
http://reserve.resort.co.jp/reservation/wonder/enquete/enquete2004/2004_04.html

「クラブネット お楽しみアンケートより」

*配布資料 D「桜に関するアンケート結果」②

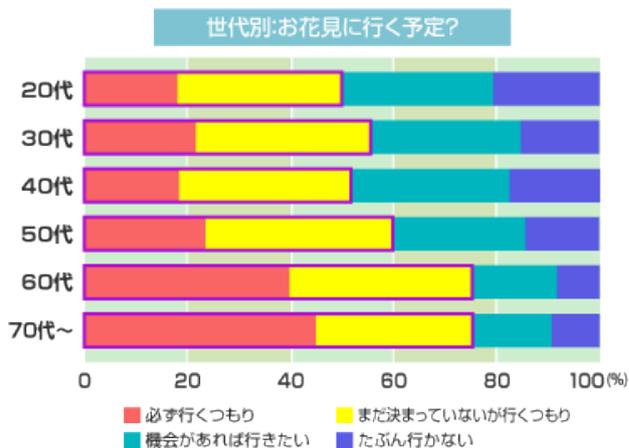
6割近くの人びとが「桜の開花」を心待ちに。

特にシニア層を中心とした季節イベントとして定着



SA(単回答)

まず今年、お花見の計画を立てている人はどの位いるのでしょうか。「(今年は)上野公園、隅田川など東京スカイツリーが観られる所で」(男性 40代)、「3月末、京都の平野神社で孫たちに囲まれて花見見物と洒落込みたい」(男性 70代)など、「必ず行くつもり」と回答した人は 23.4%。さらに「まだ決まっていないが行くつもり」という声も 34.3%を数え、全体の 57.7%の人びとが桜の開花を心待ちにしていることが明らかとなりました。自由回答の中には「2月の初旬頃に曾我梅林、2月の中旬から下旬にかけて河津桜、4月初めに御殿場線山北駅の桜、中旬に河口湖の桜と精進湖近くの芝桜・・・」(男性 60代)など、「花見シーズン」突入で大忙しという人もいました。世代別ではいかがでしょうか。「必ず行くつもり」「まだ決まっていないが行くつもり」という声を見てみると、20代で 50.0%、30代で 55.7%、40代で 51.8%と 20~40代では 50%台。一方、50代で 60.0%、70代以上で 75.4%にも達し、シニア層を中心に季節イベントとして「花見」を楽しみにしている人が大変多いことがうかがえます。



<http://www.asahigroup-holdings.com/company/research/hapiken/maian/bn/201103/00372/>

「アサヒビールホールディングス 青山ハッピー研究所 毎週アンケート」より

*配布資料 D 「桜に関するアンケート結果」③

【2011年“桜ソング”ランキングTOP10】

順位/曲名/アーティスト名

- 1 「さくら」/ケツメイシ
- 2 「桜」/コブクロ
- 3 「さくら(独唱)」/森山直太朗
- 4 「SAKURA」/いきものがかり
- 5 「桜坂」/福山雅治
- 6 「サクラ咲ケ」/嵐
- 7 「桜の木になろう」/AKB48
- 8 「桜の時」/aiko
- 9 「桜の花びらたち」/AKB48
- 10 「さくらガール」/NEWS
- 10 「桜」/FUNKY MONKEY BABYS

【調査概要】

調査時期：2011年2月22日（火）～2月25日（金）

調査対象：合計800名（自社アンケート・パネル【オリコン・モニターリサーチ】会員10代、20代の男女各200名）

調査地域：全国

調査方法：インターネット調査

<http://www.oricon.co.jp/news/ranking/85505/full/> 「ORICON STYLE (オリコンスタイル)」より

*配布資料 E「桜のイメージ」

<p>日本人の「桜」に対するイメージ</p> 	<p>春の象徴・日本人の精神の象徴（もののあはれ）・命が短い・花といえば「桜」・花見 卒業式・入学式 など</p>				
<p>あなたの国では「桜」はどんなイメージですか？</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • • • • • • 				
<p>あなたの国で大切な花はありますか？ それはどんな花ですか？</p> 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">名前</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="height: 150px;"></td> </tr> </table>	名前			
名前					



「祭り」

テーマ	祭り
内容	<p>①日本では年間を通して、各地で「祭り」が行われている。幾つか有名な祭りを紹介し、また「祭り」が日本人にとってどういう意味を持つのかを紹介。</p> <p>例)</p> <p>:神社やお寺で行われることが多い。</p> <p>:伝統として受け継がれている祭りも多いが、中には形だけになってしまい、意味が薄れ、イベントになっている祭りも多い。</p> <p>:その地域の住民の心を一体化する作用もある。</p> <p>*配布資料 A 「日本の祭りの起源」</p> <p>*配布資料 B 「夏祭りに関するアンケート」</p> <p>*参考資料 「祇園祭」「御柱祭」</p> <p>その後、学生に自分たちの国にどのような祭りがあるかを紹介してもらおう。</p> <p><u>世界の祭り</u></p> <p>⇒その国の学生に簡単に説明してもらおう *〔目的やどんなことをするかなど〕</p> <p>特に共通の祭り(旧正月の祭り)がある学生には「相違点」「共通点」なども比較してもらおう</p> <p>*配布資料 C 「祭りタスクシート」</p>

*配布資料 A

日本の祭りの起源

日本の祭りは、人々が神と共に飲み食いし、音楽や芸などを楽しむ、というものが原形でした。神と人間が共に楽しむことによって、人々がそれを生きる活力にしようとしていた、という説があります。

「人々が協力しあって労働をすることによって、神の助けも得られる」という思想のもと、神と人々が協力して稲を育てることで、国の安泰がもたらされる、と考えられたのです。

神道における祭りの単位

神道には、「個人個人が自由に神を祀る」という考えが基本にあります。それが発展した先には「家」単位での祭りがあり、さらにその先には「集落（地域）」単位での祭りがあります。

縄文～弥生時代はじめ頃の人々は、親類縁者で構成された集落を生活拠点とし、祭りの際には集落の皆で神を祀る儀式を行っていました。

その後、弥生時代の半ば頃から農業で結びついた共同体ごとに小さな国が作られ、小国単位での祭りが行なわれるようになります。

(※1984年、「二世紀半ばの出雲首長たちが集まり、神の祭りをした痕跡」が見つかります(島根県斐川町荒神谷遺跡)。そこから 358 本の銅剣が出土したのですが、その本

数が「出雲国風土記」という奈良時代の地誌が記す出雲国の神社の数とほぼ一致していました。この事から、二世紀半ばに出雲の首長たちが1人につき1本ずつの銅剣を持ち寄って、荒神谷で祭りを行っていたのではないかと推測されています。)

そして、8世紀には大和朝廷が国内を統一するに至りますが、朝廷が司る「国家の祭り」は政治的な意味合いが強かったため、集落・小国単位では豊作を祈って神を祀る行事は引き続き行われていきました。

重要視される「祖先の祭り」

弥生時代、農耕生活が始まるようになると「家」の存在が大きくなり、祖霊信仰が強まっていきます。亡くなった祖先の霊を、「その家を守り、繁栄をもたらす神」として崇拝するこの信仰が広まったことによって、人々の中に「祖先が苦勞して開墾した土地と水田があるからこそ、今、自分たちが安定して生きられる」という感謝の念が生まれてきました。こうして、祖先を祀る祭りがだんだんと重んじられるようになっていったと考えられています。

<http://www.shintoism.jp/index.html> 「神道 日本の伝統を継承し、次の世代へ繋ぐ知恵」より抜粋



<http://photohito.com/photo/577036/> 「PHOTOHITO」

*配布資料 B「夏祭りに関するアンケート」

夏祭りについて買ってしまう食べ物や日程の調べ方、行ってみたい祭りなどについて、調査結果をまとめました。

～94%が行ったことがある「夏祭り」。80%以上が「好き」～

■夏祭りは好きですか？

「夏祭りは好きですか」と尋ねたところ、“まあまあ好き”58.5%が最も多く、次いで“大好き”26.8%であった。80%以上の人が『好き』と回答し、

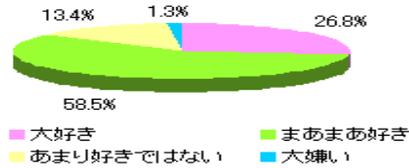
“大嫌い”と回答したのは全体の1.3%であった。＜性年代別＞

性年代別の回答では、“大好き”と回答した人が最も多かったのは10代以下女性54.9%、最も少なかったのは60代以上男性14.7%であった。

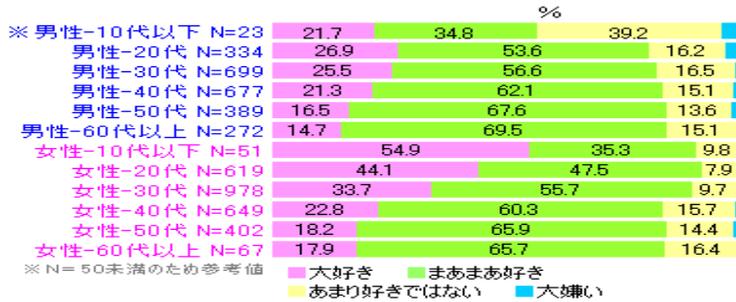
10代以下男性を除くと年代が上になるにつれ“大好き”と回答した人は少なかった。また、すべての年代で男性よりも女性の方が“大好き”と回答した人は多かった。

10代以下男性を除くすべての年代で80%以上の人々が『好き』と回答したが、10代以下男性で『好き』と回答したのは56.5%であった。

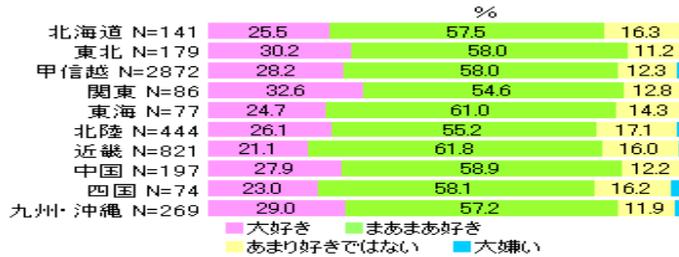
夏祭りは好きですか。(単一回答)
 全体ベース N=5160



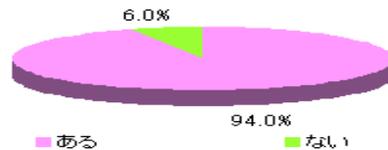
◆性年代別



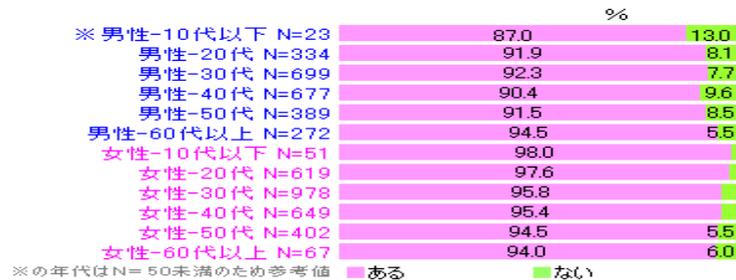
◆地域別



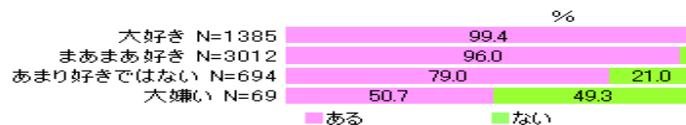
夏祭りに行ったことはありますか。(単一回答) ※花火大会は除く
 全体ベース N=5160



◆性年代別



◆夏祭りの好感度別



■夏祭りに行ったことは？

「夏祭りに行ったことはありますか」と尋ねたところ、94.0%の人が行ったことが“ある”と回答し、行ったことが“ない”のは6.0%であった。

<性年代別>

性年代別の回答では、行ったことが“ある”と回答した人が最も多かったのは10代以下女性98.0%、最も少なかったのは10代以下男性87.0%であった。

10代以下男性を除くすべての年代で90%以上の人が行ったことが“ある”と回答した。

また、女性はすべての年代で行ったことが“ある”と人は94%以上であった。

<夏祭りの好感度別>

夏祭りの好感度別の回答では、夏祭りが「大好き」と回答した人は99.4%の人が夏祭りに行ったことが“ある”と回答した。

好感度が高い人ほど行ったことが“ある”人は多かったが、「大嫌い」と回答した人でも半分以上の50.7%の人は行ったことが“ある”と回答した。

～行ってみたい、また行きたい祭は？ 「ねぶた祭り」、「よさこい祭り」、「だんじり祭り」～

■夏のイベントについて

全員(N=5160)に「次の中で知っているイベントはありますか」と尋ねたところ、“ねぶた(ねぶた)祭り【青森県】”が91.9%で最も多く、

次いで“祇園祭【京都府】”86.3%、“阿波踊り【徳島県】”86.1%であった。

「行ってみたい/また行きたいと思うイベント」と尋ねたところ、最も多かったのは“ねぶた(ねぶた)祭り【青森県】”51.2%、

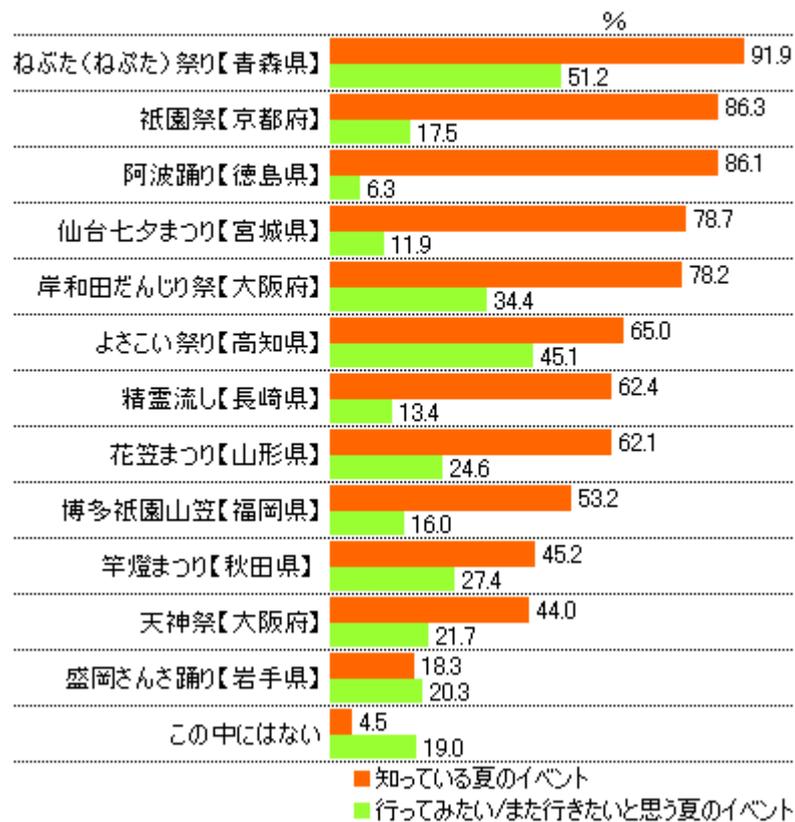
次いで“よさこい祭り【高知県】”45.1%、“岸和田だんじり祭【大阪府】”34.4%であった。

“阿波踊り【徳島県】”は全体で3番目に多い86.1%の人が「知っている」と回答したのに対し、「行ってみたい/また行きたい」と回答した人は6.3%であった。

「行ってみたい/また行きたい」と回答した人が「知っている」と回答した人の半分以上であったイベントは“ねぶた(ねぶた)祭り【青森県】”、

“よさこい祭り【高知県】”、“竿燈まつり【秋田県】”、“盛岡さんさ踊り【岩手県】”の4つであった。

次の中で知っている夏のイベントは？
 また、行ってみたい/また行きたいと思う夏のイベントはありますか？(複数回答)
 全体ベース N=5160



<http://reposen.jp/394/12/23.html> 「レポセン 夏祭りに関するアンケート」より抜粋

*参考資料

祇園祭（京都）



<http://osamc.seesaa.net/article/123872817.html>



<http://osamc.seesaa.net/upload/detail/image/B5C0B1E0BAD7A4EAA3B2-thumbnaill2.jpg.html>

祇園祭の由来と歴史

平安時代前期の869(貞観11)年、京で疫病が流行した際、広大な庭園だった神泉苑(中京区)に、当時の国の数にちなんで66本の鉾を立て、祇園の神(スサノオノミコト)を迎えて災厄が取り除かれるよう祈ったことが始まりとされる。

応仁の乱(1467-77年)で祭りは途絶えたが、1500(明応9)年に町衆の手で再興された。以後、中国やペルシャ、ベルギーなどからもたらされたタペストリーなどを各山鉾に飾るようになった。これらの懸装品の豪華さゆえに、山鉾は「動く美術館」とも呼ばれる。江戸時代にも火災に見舞われたが、町衆の力によって祭りの伝統は現代まで守られている。現在、巡行に参加している鉾は9基、山は23基だ。

<http://www.kyoto-np.co.jp/kp/koto/gion/gion.php?mode=h> 「京都新聞電子版 祇園祭とは」より

* 参考資料

御柱祭



<http://www.onbashira.jp/about/agenda.html>

一御柱祭の由来一

信州・諏訪大社では七年に一度の寅と申の年に宝殿を新築し、社殿の四隅にあるモミの大木を建て替える祭りを行います。この祭りを「式年造営御柱大祭」、通称「御柱祭」と呼び、諏訪地方の6市町村21万人の氏子がこぞって参加する天下の大祭です。諏訪大社は上社と下社に分かれ、諏訪市に上社本宮、茅野市に上社前宮があり、下諏訪町に下社春宮と下社秋宮があります。祭神として建御名方神と八坂刀売神を祀り、東国第一の軍神として坂上田村麻呂や源頼朝、武田信玄、徳川家康らの崇敬を集めました。現在では全国に1万社以上の分社があるといわれています。

御柱祭がいつから行われているのか定かではありませんが、室町時代の『諏方大明神画詞』という記録に、平安初期の桓武天皇（781～806）の時代に「寅・申の干支に当社造営あり」とあるのが最初の記録で、起源はさらに遡るともいわれています。祭りでは、長さ約17m、直径1m余り、重さ10トンを超える巨木を山から切り出し、人力のみで各神社までの道中を曳いて、最後に社殿を囲むように四隅に建てます。柱を山から里へと曳き出す「山出し」が4月に、神社までの道中を曳き、御柱を各社殿四隅に建てる「里曳き」が5月に、上社・下社それぞれで行われます。諏訪の人々は氏子として全精力を注いで16本（4社×4本）の柱を地区ごとに担当するのです。秋には諏訪地方の各地区にある神社（小宮）でも御柱祭が行われるため、一年を通して盛り上がります。

<http://www.onbashira.jp/about/index.html> 「御柱祭 公式ホームページ」より

*配布資料 C 「祭りタスクシート」

あなたの国の祭り



名前は？	いつ？	目的は？	どんなことをする？
			
			

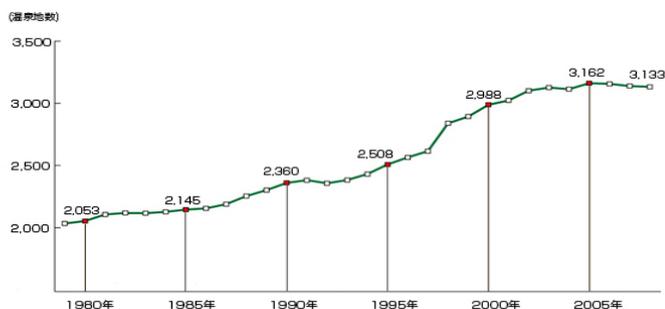
「温泉文化」

テーマ	温泉文化
内容	<p>日本は火山大国として、古くから温泉に親しんできた。また、国内旅行の行き先では温泉地が圧倒的に多数を占めている。また、お風呂に対する意識も他の国とは異なり、入浴するということをととても大切にしている国民性である。</p> <p>日本人の温泉とお風呂に対するイメージを説明し、その後、自分たちの国との比較を話し合ってもらい、日本の温泉に対するイメージなどを発表してもらおう。</p> <p>*配布資料 A「なぜ日本には温泉が多いのか」 *配布資料 B「なぜ日本人は温泉が好きなのか」 *配布資料 C「日本人の入浴に対するこだわり」 *配布資料 D「海外の温泉」 *配布資料 E「温泉に関するアンケート」</p>

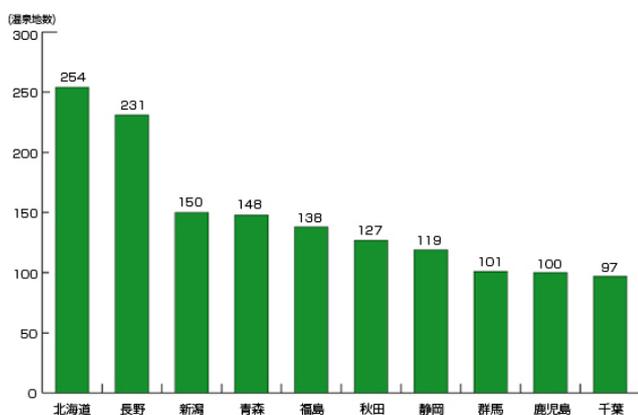
*配布資料 A「なぜ日本には温泉が多いのか」

日本は火山の数が多く、それに付随して温泉の数も多い

:温泉地の数 3,133 (*環境省自然環境局・平成20年度データ)



:温泉地数 都道府県別 ベスト10 (*環境省自然環境局・平成20年度データ)



*配布資料 B「なぜ日本人は温泉が好きなのか」

日本国内にはおよそ2,500の温泉地があり、延べ人数に換算すると年間1億4千万人も利用者がいるという。まさに世界一の温泉大国である。わが国では古来、水辺は神聖な場所とされてきたが、とくに温泉は病 気や怪我を癒す不思議な水として利用され、人々は畏敬の念を以て接してきた。それはやがて、神に対するものと同等の、信仰の対象へと昇華されていった。

現代の温泉人気は健康志向から自然への回帰が求められ、露天風呂で自然と一体になってゆったりとお湯そのものを楽しむという方向に変わってきた。また、歴史・文化や自然環境をふまえた個性的な町並みや風景など、温泉地そのものが観光目的ともなってきた。

そして今また見直されているのが、現代人の多くが抱えるストレスや成人病などの疾患を癒す「湯治場」としての機能である。国の方針のもと、長期滞在者のための療養施設の充実、費用を医療控除の対象とする制度なども整えられつつある。

⇒昔から温泉を信仰の対象としていた

病気や怪我の治療

観光

現代のストレスや成人病を癒す「湯治湯」としての働き など

⇒あるアンケート調査では、「1年に1回以上温泉に行く人は85%」

「一泊二日の温泉旅行で温泉に2回以上入る人は95%」

とあるように、日本人の温泉好きははっきりしているのではいだろうか。

http://www.norte.co.jp/you/nihon/nihon_01.html 「おもしろAKITA 温泉好きな日本人」より

*配布資料 C「日本人の入浴に対するこだわり」

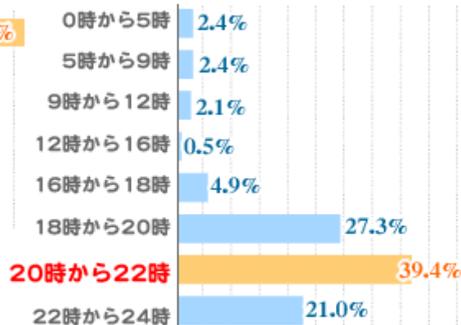
自宅でお風呂に入る頻度は「毎日 84.3%」が大半を占めました。お風呂に入る時間帯は「20-22時 39.4%」

「18-20時 27.3%」「22-24時 21.0%」に集中しています。

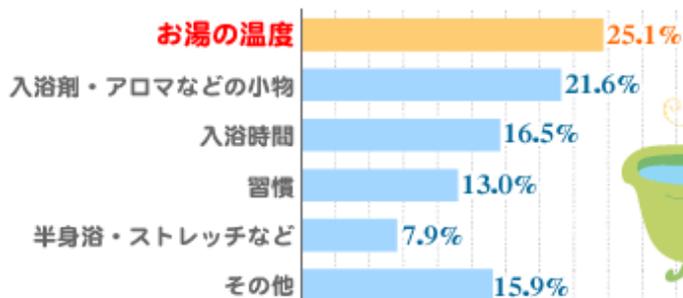
●ご自宅でお風呂に入る頻度を教えてください。



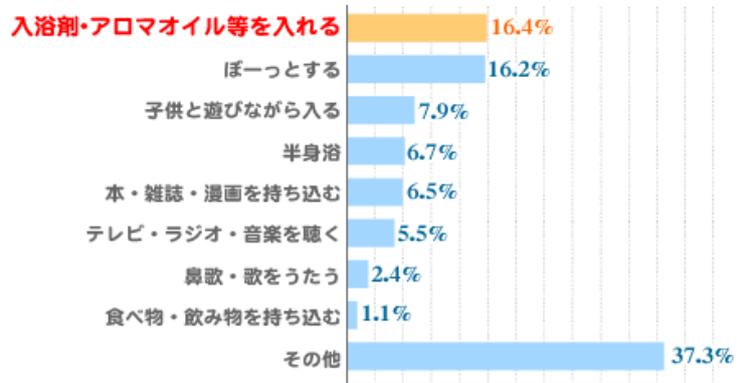
●あなたがお風呂に入る主な時間帯を教えてください。



●入浴に関してのこだわりがありましたら教えてください。



●お風呂での過ごし方で気に入っているものがありましたら教えてください。



http://www.toku-chi.com/tokurabo/vol48/life_form03.html 「とくらぼ ライフスタイルアンケート」より

*配布資料D「海外の温泉」

:温泉大国ドイツ

ドイツにおいては、バーデン・バーデン温泉が特に有名である。
近代中世の時代においては、ロシア皇帝も訪れた温泉保養地でもあることから、
その街並みは高級感を漂わせている。
現代においても、その高級感と温泉の質の良さから、
何週間にもわたり温泉地に滞在し、温泉の効果と街並みの高級感に浸り
心身のリフレッシュを図っている。

その他にも、ドイツには有名な温泉が数多く存在し、ヨーロッパの中でも
有数の温泉が存在していることから、「温泉大国」として位置づけられている。

:アメリカ

アメリカにも有名な温泉地が存在し、人々に利用されている。
ロッキー山脈を中心とした西海岸に数多くの温泉が存在し、
アメリカらしい大自然を感じながら温泉を楽しむことができる。
そのなかでも、特に有名な温泉が「イエローストーン国立公園内にある天然露天風呂」である。
この温泉の環境は川自体が温泉で、大自然と一体となり、雄大ですばらしい温泉露天風呂である。
そのほかにも、アメリカらしい大自然と触れ合えるスケールの大きな温泉が存在し、アメリカ人のみ
ならず、世界の温泉好きな人々を魅了している。

:アジアの温泉

アジアの中では、韓国や台湾といった国々で温泉が湧き出し、
「温泉」の歴史と文化が築かれている。
韓国においては、19ほどの国定の温泉地が存在し人々が楽しんでいる。
韓国の泉質はやはり、日本の温泉と似ており「単純泉」「硫黄泉」が多く、
温度は高めである。
韓国では、特に「蒸し風呂」が盛んで、健康と美容に良いということで、
日本からも多くの女性が韓国に出掛け楽しんでいる。また、「垢すり」という
文化も発達して「エステ」としての面においても、充実して環境を整えている。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B8%A9%E6%B3%89%E4.B8.96.E7.95.8C.E3.81.AE.E6.B8.A9.E6.B3.89>

「wikipedia 温泉」より

*配布資料 E 「温泉に関するアンケート」

- あなたの国に温泉はありますか？行ったことがありますか？



- 温泉に行く目的は何ですか？

- 日本の温泉に行ってみたいですか？日本の温泉で体験したいことがありますか？



- 日本人の入浴に関するこだわりや習慣に関して、どう思いますか？



- あなたもシャワー・入浴に関するこだわりなどがありますか？



- 日本では入浴剤を使う人が多いですが、どう思いますか？

- お風呂で「本を読む」「テレビを見る」「音楽を聞く」などお風呂の中で時間を使うことも多いですが、あなたの国ではどうですか？



「一期一 」(読み) いちご ()

* 一期=生まれてから死ぬまでの一生涯を言う

「茶道(茶の湯)では、一生に一度の思い・誠心誠意を込めて真剣におこなうこと」
一般の生活では「一生に一度しかない出会い」であるから大切な機会を意味する。



「雪 月 の友」(読み) せつ げつ () のとも

四季折々の風雅(ふうが)な眺めを共に讚える友(一生の付き合い)

「四季の自然美の代表的なものとして、冬の雪、秋の月、」を指す。



「初心 するべからず」(始めが大事) 始めた頃の気持ちを忘れないように。

何度か挫折しそうになる度に「初心忘るべからず」を思い出して、危機を乗り越えました。



「人の心は (おもて)のごとし」(十人十色:じゅうにんという)

人の顔がそれぞれ違っているように、心も人それぞれ。だからこそ、お互いを理解しようとする努力が必要である。

初対面の表情

*面(おもて)は顔とその表情 →あなたの表情は笑顔ですか。

顔の面(つら)→お面(めん) 能面に見る喜怒哀楽の表情

真顔(まがお) やマスク(mask=能面)をかぶっているような無表情さがある

(顔)の相(そう)を読み取る ↑能面の表情は別に学びます

コミュニケーション能力の上達 <上手な話し方を考える>

1. ことばに対して自分の持っている経験や知識は、無意識のうち培(つちか)われるものですから、だれもが内心不安を持っているものです。これで、きちんと伝わっているのだろうか、自分の話し方は感じの良いものだろうか、自信はなかなか持てないものです。
2. 話し方は、人に与える印象を大きく左右します。初対面の相手との会話やビジネスシーンなどではなおさらです。その心の内は当然表情にも表れます。話しことばはその人の人となりを映す鏡とも言えます。
3. 正しいことば遣いや豊かな表情を学び、さらに相手の立場に立った話し方を身につけることは、よりよい人間関係を築いていくうえで、大きな自信となるでしょう。



日本語は何故難しいのですか。

例1 初対面の名刺交換で：日本語の漢字には複数の読み方がある。

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1 <u>上</u> 林 (うえばやし、 <u> </u> ばやし) | 2 <u>上</u> 谷 (かみたに、うえたに <u> </u>) |
| 3 <u>東</u> 家 (ひがしや、とうや、あずまや) | 4 <u>古</u> 谷 (ふるや、ふるたに、 <u> </u> たに) |
| 5 <u>長</u> 田 (ながだ、 <u> </u> た) | 6 <u>本</u> 宮 (ほんぐう、もとみや) |

- 例2**
1. アダチ (足立、安達、足達、安立、安達、安立)
 2. ユウキ (結城、勇気、由木、有紀、悠木、夕貴)
 3. サカイ (坂井、堺、酒井、阪井 境)
 4. イトウ (伊東、伊藤、井藤、井等)

- 例3** 難しい名前
- | | | |
|----------------------|--------------------|------------------------|
| 1 日下部 (<u> </u>) | 2 蛭子 (えびす) | 3 浅生・麻生 (<u> </u>) |
| 4 御手洗 (<u> </u>) | 5 目 (<u> </u>) | 6 伊達 (だて) |
| 7 千種 (<u> </u>) | | |

例4 読み方の多い漢字：一つの漢字が幾通りにでも読める。考えてみよう。

生 生(なま)ビール 生酒(きざけ) 生年月日() 誕生() その他



「笑う門には 来る」(笑う家には福が来る)

*あそこの家の人みな明るいから、自然と人が集まってくる。

「笑顔に当る拳(こぶし)はない」笑顔の人には怒りがぶっつけられない。

*あの人の前だと、いつも不機嫌そうな人でも表情が和(やわ)らぐね。

「 ある鷹(たか)は爪(つめ)を隠(かく)す。」
(鼠取る猫は爪をかくす。)

*優れている人は、普段その才能を人にひけらかしたりしない。

「声なくして人を呼ぶ」人徳があれば、自然と人が集まってくる。(周りが放っておかない。)

日本の自然を歌う



四季の歌

作詞・作曲 荒木とよひさ

The Song of the Seasons

春を愛する人は
心清き人
すみれの花のような
僕の友だち



夏を愛する人は
心強き人
岩をくだく波のような
僕の父親



秋を愛する人は
心深き人
愛を語るハイネのような
僕の恋人



冬を愛する人は
心広き人
根雪をとかす大地のような
僕の母親



日本の歌：日本にはたくさん美しいメロディを持った歌があります。「さくら、さくら」は世界で最も知られている代表的な唄です。「四季の歌」は日本の季節の移ろいと季節感を巧みに表現しています。夫々の節に人の愛を深く読み込んでいます。美しく、しかも決して難しくありませんから、是非あなたの愛唱歌としてください。



俳句(はいく) 日本が産んだ世界最短の定型詩、五七五律です。

5 7 5 音律と 7 7 音律が交互に続く連歌はかなり以前から使われていましたが、完全に独立して俳句としたのは正岡子規によるものであり、まだ百年少々しか経っていませんが、多くの日本人が愛して止まない文芸の世界です。

《季語》 俳句の中に生命を取り込むことが大変重要であり、生命は現れたかたちとしては季節と共にあり、花は春咲き、ホトトギスは夏鳴き、月は秋最も美しく雪は冬降り積もる。季語を季節毎に分類して例句を集めたものが歳時記で、季節語の集大成であり、俳句を作る上での共有の手引書でもあります。



- 《春》 故郷(ふるさと)や どちらを見ても 山笑う 子規
- 《夏》 静かさや 岩にしみ入る 蝉(せみ)の声 芭蕉
- 《秋》 柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺 子規
- 《冬》 初富士(はつふじ)にかくすべき身もなかりけり 汀女

(新年はじめて見る富士山を初富士という。全身雪をまとい、晴れた空の中に全景を見せる富士。その公明正大なる雄姿の前には、隠すべき身もない。すべてをさらけ出して、前進するのみ…の意。)



**面白メモ→ 松・竹・梅 食堂で見る料理の品 (定食や寿司等) についている。料理の種類分け。



里の道も一 から。(どんな大きな事も、身近なことから始まる。)
*千里の道も一歩から」なんだから、考え込む前に始めてはどうだろうか。



禍福 (かふく) (おのれ)による。(幸いも不幸も自分の行いの結果である。)



*あなたは運が悪かったと言うけれど、「禍福己による」だから、運のせいにしてはだめだよ。

知恵と力は にならぬ。(知恵と力はあるほど良い。)

*「知恵と力は重荷にならぬから、今のうちにせいぜい勉強しておくように。

**「雨垂(あまだれ) 石を穿 (うが) つ。(力はわづかでも根気よく続ければ成功する。)

初対面 第一印象は大切といいますが：

あなたの第一印象は良いと思いますか。あなたは、相手に対してどのような感じで受け取られていますか。初めて会う時や、面接の場合、人の前で話す時、緊張してしまって表情が固くなる(笑顔を失う)のを感じますか。一般にそのような表情を**マスクを着けた顔と言われます。**

能面のような表情(能に用いる仮面。「おもて」とよばれ、「めん」とはいわない。)



無表情な人は「能面のような」と表現されますが、能面は人間の怒りや喜びなど

瞬間の表情を捉えたものが多くあり、鬼面は怒りの瞬間的表情を、女面は喜怒哀楽の特定の表情を持たず中間的表情をしています。面を上下に傾ける(照らす、曇らす)ことによって様々の表情が与えられます。それは一つの面が長時間の舞台の使用にたえる工夫なのです。

能とは？全員或いは一部の登場者が仮面をつけて演じる劇

日本の古典芸能の一つで、

「猿楽の能」を観阿弥が発展させ、足利義光の庇護のもと能が大成し、その後、世阿弥や増阿弥などが「幽玄の能」として発展させました。徳川幕府時代には、能が式楽(公儀の儀式に用いる音楽や舞踊)とされ、諸大名もこぞって能を愛好しました。



日本人の考え方：日本人との付き合い方

- * **皆さんの意見：**日本人についての感想①交通規則をよく守っている//どうして信号を守らないのですか=踏み切りが鳴っているのに渡る？自転車のマナーが悪い*電車に乗る時並んでいて良い*何故右を歩きますか*通学ですと歩くのが嫌②国内旅行、白川郷などの観光旅行*残念なこと：円高で旅行が出来ない③誠実で礼儀正しい/気遣いで人に合わせる人が多い④敬語を使う素晴らしい民族。⑤男性の場合の「俺」と「僕」の違い*台湾と日本の表現の差がよくある*「でしょう」と「ましょう」はどう使いますか近い/遠い、少なめ/同量に近い*「申し込み」と「申請」などの使い分けを外国人が分からない*日本語に早く上達するには/日本人の名前を読むコツを知りたい⑥仕事に真剣⑦よく笑う⑧関西の人は親切(道に迷ったら丁寧に教えてくれる)、東京の人は冷たい*几帳面で器用・清潔・謙虚⑨何を考えているのか、何故謝っているのかよく分からないので頭にくる*時々礼が多すぎる⑩話し方も歩き方も速い*忙しくても優雅にする*生活が規則正しいが、厳しくストレスの多い生活*授業数が多くて遊ぶ時間が足りない⑪仲良くしても、ちょっと距離感がある。*なかなか心を開いてくれない*日本人は静か*お互い友だち同士になるのが難しい*先生が学生の名前を見て直ぐ呼べますか？⑫タバコが高い喫煙者が多い⑬何故夜にバスケットボールをしているか*店の多くが8時や9時に閉まっているのは何故⑭日本人の特有な英語読み、英語の流暢な人もいる⑮TVで俳優が悪口を言っている⑯パチンコ店が多いのは何故

日本についてもっと知りたいこと：



- *日本の歴史：各時代の特徴や、武士道とは何か・その由来・思想
- *日本の地理と地域の特徴：関西人と関西弁/大阪弁、名物や地域特産物など
- *日本の伝統的なこと→お茶(茶道)やお花(花道・華道)や書道・禅や、剣道、合気道など
- *日本のマナーとしきたり(礼儀作法)→食事のマナーや生活習慣(良いこと・駄目なこと)
- *日本語の表現：日本人の本音や建前？ 敬語の難しさ 言葉の変遷：流行語・若者の言葉
- *日本人で著名な人：日本の文学者や作品・他の執筆者について
- *日本の交通網と交通事情：観光地(日本人が好む所)を紹介して欲しい
- *日本の冠婚葬祭と一般の祭り：お正月の過ごし方、ひな祭り、こどもの日、その他の祭
- *日本人の食と健康の秘訣：日本料理→お正月の料理など。朝ごはんはどうしていますか。
- *日本の贈与の習慣：プレゼントが好きですね。

日本の金言・名句から



1. 和を以(も)って尊しとす。聖徳太子(しょうとくたいし)
2. 初心忘るべからず。世阿弥(ぜあみ)
3. 不自由を常と思えば不足なし。徳川家康(とくがわいえやす)
4. われ事において後悔(こうかい)せず。宮本武蔵(みやもとむさし)
5. 苦は楽の種、楽は苦の種と知るべし。徳川光圀(とくがわみつくに)
6. 知って行わざるは、知らざるに同じ。貝原益軒(かいばらえっけん)
7. 世に生を得るは事を為すにあり。坂本竜馬(さかもとりょうま)
8. 天災は忘れたころにやってくる。寺田寅彦(てらだとらひこ)
9. 元祖、女性は太陽であった。平塚らいちよう(ひらつからいちよう)
10. 我以外皆師 吉川英治(よしかわえいじ)



お笑い
ユーモア



天狗



1 たくさんの種類の「面」。神様から動物まで様々です。にっこり笑う面。邪悪なキツネの面。日本には数多くの面があります。こうした「面」が活躍する場が祭りです。古来、日本では多種多様な神様が信仰されて来ました。祭でも様々な神様が登場し、その神々を表現するために面が使われます。

江戸時代初期から続く祭で愉快地に踊るのは、「ひょつとこ」、「火の神様」と言われ、曲がった口は火に息を吹きかけている様子を表しています。「おかめ」は、ふくよかな女性の神。この「芸能の神」は福をもたらすと言われています。

2 面はそれを着けた人が演じるとき、豊かな表情をも持ち始めます。富をもたらす神様は大黒天で、やわらかい手の表情をつけると、面を生き生きさせます。日本の神々は、それぞれに独自の力を持つと考えられています。その為、祭では様々な神様の面を着けることで、人が神になり代わり幸せを分け与えるのです。

3 面が大きな役割を果たすもう一つの世界が「能」です。能は人の喜怒哀楽(きどあいらく)を舞で表現する芸能です。抑制されたわずかな動きで、心の微妙な動きを表現します。特に能面では、死者の邪悪な魂や超自然的な存在を表す、ある神秘的な雰囲気(かも)を醸(かも)し出しています。

能で用いられる様々な女面は、若い女性から恐ろしい山姥(やまんば)、清らかな天女など、20種類以上が作られて役割に応じて使い分けられます。↓いろいろな仮面の表情



表情豊かな能面を作り出すのは能面師です。色彩で一番難しいのは、奥深い、年を重ねた趣(おもむき)を出すために、3~4年寝かせた絵の具を使います。さらに墨やすずを使うなどして陰影をつけながら、1週間かけて何度も塗り重ねていきます。このような細かい技を重ね、面に魂を吹き込んでいきます。

このように、祭の面から芸能の面まで、日本の面は多種多様な表現を持っているのです。

舞台芸能以外でも、日本人は面や化粧で変身するのが好きかもしれません。そして自分の印象を変えて楽しんでいきます。その他、祭の出店では、子供たちにとってヒーローやアニメのキャラクターの面を売っています



天、 (にぶつ)を与えず。(人間誰でも、欠点はあるもの)
* 勉強が出来ないといって落ち込むな。君にはスポーツがあるじゃないか。

も木から落ちる。(どんなにその道の達人であっても、失敗することはある。
(類似の諺：河童の川流れ)
* 君のように長くやっている者でも、失敗することがあるのだから、わたしが出来なくても恥じゃあないね。

三度目の (しょうじき)。(三度目じゃ確実と言う)勝負ごとでよく使われる。
* 三度目の〇〇で、今度こそ成功させるぞ！

禍(わざわい)も 年経(た)てば福となる。(不運も、時間が経てば幸運の種になることもある。)
* その期待外れの経験も、きっと無駄にはならないと思うよ。



日本の年表 ***日本の神話→日本国の起源：天照大御神(アマテラスオオミカミ)『日本書紀』に記されている。
出雲から伊勢へ聖地を移す。太陽神(女神)高天原の天の岩戸に隠れ闇となる話し。

縄文時代 → 弥生時代 → 古墳時代(仁徳天皇の古墳)

1. 飛鳥時代(592-710) 2. 奈良時代(710-784) * 平城遷都(せんと)1300年周年 平安京は奈良時代日本の首都。聖徳太子: 朝廷を維持しと憲法や仏教によって民を守護することに尽力。朱雀門(すざくもん)は御所への南門。皇族の時代。東大寺(大仏)、興福寺、法隆寺等)



奈良朱雀門↑

3. 平安時代(784-1184) 平安京(京都)に遷都。桓武天皇～、皇族・公家、武士台頭まで400年間。紫式部「源氏物語」、女性作家、歌人「万葉集」(歌集)かたかなで書く。



紫式部→

4. 鎌倉時代(1190-1334) 古代から中世へ:

鎌倉は政治の所在地。朝廷・源氏&平家の武将、武士。

鎌倉幕府→武家政治の始まりで、朝廷(天皇・皇族)の力が弱まる。

5. 南北朝・室町時代(1334-1573) 6. 安土桃山時代(1573-1596) 全国制覇を志した二人の城主、織田信長(1568 入京・安土城)から、豊臣秀吉(大阪城・1598 死去)迄。次期の徳川家康にいたる戦国時代。★富を背景にした豪商・新興商人による豪華絢爛たる文化が栄える。千利休(茶道)と豊臣秀吉の親交と自殺。

7. 江戸時代(1597-1868) 秀吉の江戸城(徳川幕府から明治維新) 町人の繁栄、江戸の町奉行など。

8. 明治時代(1868-1912) 日本の近代史が始まる。西洋文化が入り文明開化。天皇制+国会議員制始まる。

9. 大正時代(1912-1926) 短い自由民権の時代 大正デモクラシーと大正ロマンを市民が愉しむ。

10. 昭和時代(1926-1989) 軍国主義が神化された天皇の下に世界大戦に挑む。原爆被害と敗戦。平和憲法

11. 平成時代(1989. 1月8日-) ハイテク技術革新～バブル経済 人口の減少：少子化・高齢化問題

日本の金言・名句から

1. 聖徳太子「和を以(も)って尊しとす。」飛鳥時代、生誕574-622 四天王寺と法隆寺等建設、奈良明日香村に行こう！
2. 世阿弥「初心忘るべからず。」(1363-1443) 能役者として名声を博す。父と共に現代の能舞台を大成。
3. 徳川家康「不自由を常と思えば不足なし。」江戸幕府の初代戦国大武将 徳川氏の祖 豊臣秀吉を打つ 江戸城を築く
4. 宮元武蔵「われこ事において後悔(こうかい)せず。」岡山県出身。江戸初期の剣豪、兵法者。剣の道一筋：多くの逸話。
5. 徳川光圀公「苦は楽の種、楽は苦の種と知るべし。」(1628-1700) 江戸時代の文武、世情に通じた水戸黄門として人道の真理を説き、格さんと助さんを連れて日本全国を旅する。現代もTVドラマなどで大変親しまれている。
6. 貝原益軒「知って行わざるは、知らざるに同じ。」1630-85歳 儒学者、医学と教育に尽し書物を記した
7. 坂本竜馬「世に生を得ることを為すにあり。」四国高知生。明治維新に多大な影響を与えた幕末の志士。
8. 寺田寅彦「天災は忘れたころにやってくる。」四国高地生。明治時代の物理・気象学者、随筆家、俳人。
9. 平塚らいちよう「元祖、女性は太陽であった。」明治19生。作家、昭和にかけて女性の思想化『青鞥』、女性参政権。
10. 吉川英治「我以外皆師」(1892-1962)国民的文学作家として人気が高い。「宮本武蔵」は朝日新聞連載小説(4年間)であった。吉川英治文学賞が優れた作家に授与される。



留学生のための日本理解(宇都宮) 氏名 _____

日本語のものの数え方を知っていますか。

茶碗：1個・一客	1 映画・物語：	2 机や椅子：	3 家： 一戸建	
4 銃やアイロン：	5 車・電車： 列車：一輛	6 歌：	7 靴・靴下：	
8 劇団：	9 稲・野菜：	10 船：	11 銀行口座：	12 衣類：
13 魚：	14：さしみ・寿司	15 植木：	16 ウサギ：	17 音楽：
13 雑誌・教科書：	19TV レンジ：	20 議題・事件：	21 皿・敷物：	
22 包丁・刀：	23 うどん：	24 椀物・吸い物：	25 鉛筆・ペン：	

答え：1 巻・本 2 脚 3 軒 4 基 5 台 6 首 7 足 8 座 9 束 把 10 艘(そう) 11 口 12 枚・点 13 匹
14 一人前 15 株 16 羽 17 曲 18 冊、部 19 台 20 件 21 枚 22 丁 振り 23 玉 丁 24 杯 25 本

キャベツ→玉 鏡→面 碁・将棋→曲・て・番 傘・太鼓→張り 木の葉・写真→枚・葉 寺→堂・寺
エレベーター→基 飛行機→機 葉→服 運動場→面 証文・手紙→通 背広→着 蝸・烏賊→杯 匹 茶→袋
花→輪 本 年齢→歳 ぶどう→房 論文→編 料理→品 皿 マンション→棟ムネ 箸→対組 豆腐→丁

日本では、数で「4」を『死』と読み嫌うので、病院に4階 4号室がなかったり、花束に4本等を避ける。シクラメンも「4と9」、『死と苦』を連想してお見舞いに持って行かない。九は苦勞・苦悩の「く」がつき避ける。病人に「鉢植えの花」も「病床上に寝づく」と意味して避ける、結婚式で刃物は「切る」縁を切る、試験には「滑る」に関する表現を大いに嫌います。

縁起物：縁起を担ぐ

社寺や社寺前の店にて求めるものを縁起物という。浅草の鷲(おおとり)神社の11月酉(とり)の日に行われる酉の市(いち)がある。このとき参詣者は熊手(くまで)、お多福面(たふくめん)などを縁起を祝って求める。とくに客商売の者で雑踏する。広島の宮島→杓子 厄病除け→笹についた張り子の虎 奈良の法華寺→お守り犬、達磨(だるま)招き猫

七福神

	恵比須 ebisu	商売繁盛の神 清廉
	大黒天 daikokuten	豊作の神様 知足
	弁才天 benziten	学問と財福の神様 愛敬
	毘沙門天 bisayamonten	勝負事の神様 威厳
	布袋和尚 hotei-oshou	開運・良縁・子宝の神様 度量
	福祿寿 fukurokuju	福德・長寿の神様 人徳
	寿老人 jurouzin	長寿と幸福の神様 長生

- 六は歌七は神にて八は芸
- 神信仰は室町時代末期頃の京都に始まったといわれています。
- 七福は財七賢は徳に富 開運の神様たち
- 宝船(たからぶね)とは、七福神が乗る宝物を積み込んだ帆船、または、その様子を描いた図のこと。新年をあらわす季語でもある。宝船には珊瑚・金銀・宝石など、様々な宝物が積み込まれているという。そのため宝船はおめでたい船とされ、この船に七福神が乗っている様子をかたどった置物などが縁起物として親しまれている。



日本を代表する山=富士山=Mt. Fuji <世界文化遺産としてユネスコへ登録を推薦>

登録されている日本の世界文化遺産：広島原爆ドーム 姫路城 世界自然遺産：白神山地、屋久島、知床



- ・ 富士山はただの自然ではなく、自然崇拜である山岳修業に始まる信仰の対象である。日本人の生活に溶け込んだ富士山を崇め、勇気づけられるという精神の源。
- ・ 浮世絵師、葛飾北斎(かつしかほくさい)が、「富嶽三十六景」に象徴的に富士山を美しく描いた。西欧の印象画家ゴッホやドガ等に遠近法等で影響を与え、「神奈川沖浪裏」の富士山は世界的賞賛を得ている。



3. 芸術、文芸にて富士山が描かれ、語られている。文学者、永井荷風「日本の美について、日本の失った日本の美を富士山を通して見つめ直おそうと言っている。
4. 日本人の心のふるさと富士山：日本人が、人生の様々な生活状態にあって、富士山と向き合っていることが多い。俳句「厳(いつく)しく 動かぬ山の 冬の色」 「水にも 秋涼感じる 富士の山」 「初夢は 富士のお山と 決めており」

日本の祭り

日本の祝日(公定休日は一年に15日あります) ①元旦1月1日年の初めを祝う。年末12月30日から1月5日辺りまで、日本国中で長い休暇となり、忘年会から新年会と賑やかな、親族と友人や働き仲間との集いがもたれます。

- ②1月第2月曜日 成人の日。各地方で成人になったことの祝いの式があり、女性たちの美しい晴れ着姿が見られます。
- ③2月11日 建国記念日 国を愛する心を養う日
- ④3月21日 春分の日 日本古来の風習で彼岸会と言って祖先供養の墓参りなどを行う。
- ⑤4月29日 みどりの日 昭和天皇誕生日ですが、昭和は64年間に戦争、敗戦、復興、繁栄と発展と未曾有の歴史をつづった。
- ⑥5月3日 憲法記念日 平和を宣言した憲法の施行を記念。
- ⑦5月4日
- ⑧5月5日 子どもの命の尊厳と幸福を祈る日。*3月3日は女の子の「雛(ひな)まつり」、5月5日は男の子の勇壯を願って「端午(たんど)の節句」を、平安時代から



守られている伝統的な祭りである。*なお、土曜日や月曜日と続いてゴールデンウィークと長い休暇となる。

- ⑨7月第3月曜日 海の日 海の恵みに感謝し海洋国家日本の繁栄を願う日
- ⑩9月第3月曜日 敬老の日 日本は世界一の長寿国で現在女性は平均寿命93歳、男性は約85歳となっており、多年にわたり社会に貢献してきた人々に敬意を表す日。
- ⑪9月23日 秋分の日 祖先を敬い、亡くなった人を偲んで墓参りをする。
- ⑫10月第2月曜日 体育の日 スポーツに親しみ、健康な心身をつちかう。
- ⑬11月3日 文化の日 自由と平和を愛し、文化をすすめる。元は明治天皇誕生日として祝った一明治は日本開国と近代化政策で文化と生活の大きな発展の時代である。
- ⑭11月23日 勤労感謝の日 勤労を尊び、生産を祝い、国民が互いに感謝し合う日。元は新嘗祭(にいなめさい)と言って、その年に取れた新米を神に捧げた。秋の豊作を感謝する。
- ⑮12月23日 天皇誕生日 昭和64年1月7日昭和天皇が崩御され、同日皇太子明仁殿下が55歳で、神武天皇以来125代の日本国天皇に即位された。よって平成元年が始まり、今年度は平成23年となる。



日本の代表的な祭り：京都三大祭り★葵祭り(京都) 五穀豊穰を祈り五月15日に行われる優雅な古代行列が下賀茂神社から上賀茂神社へ500人の昔の衣装を着た人々が向かう。★祇園祭り(京都) 7月1日~31日まで 八坂神社の祭りが豪華に1ヶ月にわたることから、大阪の天神祭りと東京の神田祭りの三大祭りの一つとなっている。



★時代祭り(京都) 長岡京から平安京に遷都一平安神宮創建等を記念して10月22日行われる時代行列。順次風俗や文物の変遷を再現し、20列、3000人で2キロに及ぶ

行列である。★天神祭り(大阪) 天神祭りは全国の天満宮で行われる一学問の神菅原道真(すがわらのみちざね)の命日を覚える縁日。大阪の夏祭りは6月下旬から約1ヶ月にわたり、24日の宵祭り、25日の本宮の夜は、大川(淀川)にたくさんの船が行き交う船渡御(ふなとぎょ) 奉納花火、そして催し太鼓や神輿(みこし)の行列など夏の祭典である。★神田祭り(東京) 神田神社で行われる江戸の伝統を大切に行われる天下祭り。5月15日~1週間 お神輿の儀式、氏子町会自慢の神輿の披露、天下祭の行列、家元の献茶式、松明が揺らめき優美な能楽など毎日色々な神事が行われる。



日本の神社・仏閣



日本では年末、大晦日深夜 0 時になるとお寺で除夜の鐘を 108 回打ちます。108 の数は人間の煩惱の数であり、それを取り除いて、新年を迎えます。除夜の鐘は京都の知恩院の鐘の音から、日本中の寺院の鐘楼で 108 階の鐘を打ち鳴らして、人々は手を合わせ新年への祈願をします。元旦（お正月）には、初日の出を拝む為に富士山に登る人が大勢います。また、元旦の早朝から東京の明治神宮を始め、全国の神社では初参りの人々が新年を共に祝います。

こうして日本では、生活習慣の中に、お寺とお宮での行事を取り入れています。

鳥居 (とりい)



神社の参道には、必ず朱色の鳥居があります。例えば、京都の平安神宮の表参道には大変大きな立派な鳥居があります。平安神宮の境内は広く、昔からそこで祭の演劇が披露されます。今も、著名人によるライブも行われます。

さて、奈良公園内の春日大社にはそれはたくさんの神社(福の神 12 社)と夫々に鳥居があります。この神社は奈良時代に創建された藤原氏の氏神を祀っています。京都も奈良も世界遺産として登録されているものを観賞できます。

瀬戸内海の満ち塩・引き潮が効果的に神社を優雅に映し出すことで有名なのが、広島市にある厳島神社です。神が宿るといふ宮島から、厳島(いつくしま)と呼ばれます。12 世紀平清



盛によつて造営されて以来、海上木造建築としての寝殿造りの華麗で荘厳な美

は世界に誇るものです。*紅葉(もみじ)が美しく、もみじ饅頭が土産ものとして有名です。

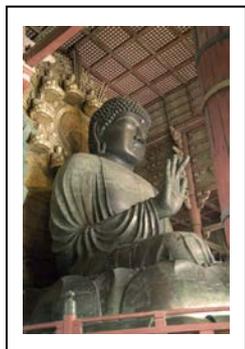
◎ 神社は、日本の神々が祭られています。また、日本の多くのご先祖さまが祭られています。

◎ 神社では、さまざまな年中行事が守られます。天満宮の夏祭りなど観光名物として賑わいます。お正月は神社にて家族の幸運を祈願し、七・五・三では子供たちの成長を祝い、将来を祈願する儀式、目出度き折々に祀(まつり)りが行われます。

◎ 寺院・仏閣は、各々のお寺によりますが、仏様・お釈迦様が祭られています。夏のお盆は、正月と同じように、人々は長い休暇を取って故郷の実家に帰り、家族と共に過ごします。そしてお墓参りをしたり、仏になったご先祖さまの霊を迎えて伝統的な方法で家族の時を過ごします。



奈良の東大寺金堂、通称大仏殿は聖武天皇が強い祈りを込めて建造、17 世紀。国宝に指定。昭和 54 年に 41 億円を掛けて屋根の大修復をしました。一本の柱の中を人が通れる程大きな柱が使われています。鎌倉にも大仏様がありますが、高徳院の本尊(阿弥陀如来)で長谷の大仏とも呼ばれ佛高 11.3m の坐像が戸外にそびえています。



日本の最古の世界文化遺産、奈良の法隆寺で金堂、五重塔や夢殿で美しい景観をなしています。ここには、重要な絵画、彫刻の宝物があります。釈迦如来が祭られています。薬師寺には月光菩薩(国宝)など、日本の仏様の姿は様々です。

阿修羅像 ↓ 興福寺

昭和時代には、まだ各家庭に仏壇がありました。今はあまり見ません。



*日本人の信心は、神仏だけではなく、多文化の国から宣教された宗教、例えばキリスト教を信仰する人もあります。また、地方特有の神々も大切にされています。*日本の祭りでも多く見られます。



日本人の生活様式

1 ざぶとん

座るときに床などに敷く布製の小型のふとんこと。四角形のものが多いが、丸いものもある。

2 てぬぐい

手や顔などをついた水や汗などをふき取る時に使われる布のこと。長さはさまざまだが、形は方形のものが多い。

3 まえかけ

着ている衣服が汚れないように、体の全面に、主として腰から下に着付ける布のこと。調理などに着用されることが多い。

4 たすき

着用している衣類の袖をたくし上げるために、肩から脇を通して背中にもわして結ぶ紐のこと。掃除や調理をするときに結ばれることが多い。

5 かつぼうぎ

着物の上からすっぽりとかぶり、料理や掃除・洗濯などのときに使用する衣のこと。主に女性が着用する。

6 はちまき

力を入れて作業に取り組むときなどに頭の部分を巻く布のこと。古くは武士と呼ばれる戦士たちが戦いの時に頭に着用したことから始まった。

7 着流し

古くから日本人の男性の和服の略式の服装のこと。羽織や袴を着用しないことをさす。軽装なので行動がしやすく、気持ちもリラックスできることが多い。

8 振袖

日本人の和服のスタイルの1つで、腕を通す袖の長さが長い着物のことをいう。若い男女が着用するのが一般的。

9 手袋

布で手をおおい、寒さや外傷・災害などから守ったり、また正式な催しや場面で着用する衣類の1つ。

10 足袋

足の形を模して作った和服を着るときの布状のはきもの。親指と他の指が分かれるようになっており、寒さよけや外傷を防ぐ役割をする。また、白い足袋は正式な儀式などに着用する。

11 背広 (スーツ)

普通は仕事の時に、男性が着る洋服のこと。上着・ズボンなどを身につけ、上着のなかに「ちょっき」とう袖なしの衣類をを着用すると、「三つぞろい」と呼ばれる。前ボタンが一行のものを「シングル」、二列のものを「ダブル」という。

12 学生服

主に日本の中学生や高校生、以前は大学生が着用した制服（正式な服装）のこと。近年は着る機会が減ってきているが、日本の学生たちの象徴であった。

13 のれん

古くから家の軒先に掲げ、日よけや寒さよけなどとして使ったり、商店では店頭に掲げて店の名を染め抜いて示した布のこと

14 さしみ

魚肉などを生のままでうす切りにし、醤油などにつけて食べるもの。「刺身」と書く。寿司屋などで出されることが多い。

15 お好み焼き

小麦粉を水で溶かし、好みに応じて魚・野菜・肉などを入れ混ぜ、熱く焼いた鉄板の上で焼き上げる食べ物。手軽に調理でき、日本人の間で広く知られている。

16 たこ焼き

小麦粉を水で溶き、卵を混ぜ、蛸を主にして葱などを加えて、鉄製の型に入れて球形に焼き上げる食べ物。早く安く食べられる庶民的な食の1つ。

17 ラーメン

卵や塩・水などでよく練った小麦粉を基本とする麺を、熱湯で作ったスープに入れて食べる料理のこと。好みで肉類や野菜などを加える。日本人が好む食べ物の1つだが、近年は熱湯を器に入った固い麺にかけて早く食べる「カップラーメン」などが人気である。

18 バイキング

ホテルの食堂やレストランなどで、さまざまな料理をテーブルに並べておき、客が自分の好みに応じて食べる形式のこと。もしくはその料理のことをさす。

19 ファミリーレストラン

家族向けの料理店のこと。豊富なメニューからさまざまな食事をするができるようになっており、量の割りに値段が安いことも利用客が多い理由の1つである。ファミレスと略されて呼ばれている。

20 ファースト=フード

日本全国にある早く安く食べられる店のこと。あるいはそこで出される食べ物のことをさす。ほとんどはチェーン店化されており、ハンバーガーやフライド=チキンなどを持ち帰ることができる。

21 立ち食い(店)

駅の構内やその周辺、商店街などで営業しているそば・うどん・カレーライスなどを安く提供する店、あるいは食べ物のこと。注文した品が目の前で作られることが多く、素早く出されることが特徴の1つ。

22 すきやき

鉄製の鍋に、牛肉や鶏肉を野菜や豆腐などと混ぜ合わせて、煮て焼いて食べる料理のこと。別の器に卵をといで、そこに浸して食べるが多い。

23 オムレツ

卵をときほぐし、塩・胡椒などの調味料を加え、フライパンで焼き、形を整えて作る卵料理。最後に卵の上にケチャップなどをかける。また、肉や野菜を卵に入れて焼く場合もある。

24 焼き鳥

鶏肉に塩や汁(「たれ」という)などをしみこませ、竹などで作った串に刺して火であぶり焼いて食べる料理。牛や豚の内臓を焼くこともある。焼き鳥を提供する店を焼き鳥屋(店)と呼んでいる。

25 冷奴

特に夏の季節に、豆腐を水や氷にさらして冷やしておく。好みに応じて鰹から削り作った鰹節や細かくきざんだ葱など加え、醤油をかけて食べる簡単な豆腐料理の1つ。

26 出前

商店が客からの品物の注文を受け、料理などを客の家に届ける行為やその料理のことをいう。寿司屋やそば・うどん屋は以前から、近年はピザ屋なども出前を行っている。

27 回転寿司

カウンターやテーブルの前で、寿司や刺身などを中心にさまざまな料理が機械によって運ばれ、客の前を回転する。客は自分の前に来た料理を、入っている器ごと取って食べる。普通の寿司屋よりもメニューは多くて値段も安いので、人気がある。

28 漬物

大根・白菜などの野菜を、木製の樽や器などに塩や糠味噌などにしばらく浸して漬けておき、よくなじんだ頃に取り上げて食べる料理。漬け方によってさまざまな種類があるが、一般の日本人の料理としてよく食べられている。

29 塩辛

烏賊などの魚介類の肉・卵・内臓を塩に漬けて発酵させて食べる料理のこと。素材によってさまざまな名称がある。普通は酒席で食べることが多い。

30 とろろ

山野でとれる山芋などをすりおろして食べる料理の1つ。とろりとした粘り気がある液状になるのでこの名があり、それを飯にかけて食べることが多い（「とろろ飯」という）。また、とろろ汁というスープにすることもある。

31 しもふり

霜がおりたように白色の斑点になった模様のことをいうが、一般的に日本では、牛肉の赤みの部分に白身が混ざっている様子を言うことが多い。

32 しゃもじ

杓文字を書く。食事の時、飯をよそおい（飯をとり）、汁をすくう料理道具の1つ。特に飯用の平たい形のものをいう。

33 おにぎり

飯を三角形や俵状などの形に手で握る。その際、塩をまぶして、飯の中に梅干の皮や漬物などを混ぜて握り固める。最近では、中に入れる食材（「ぐ」と呼ぶ）が豊富となっている。日本人が好んで食べる食事の1つ。

34 居酒屋

簡単な料理と酒を手軽に飲食できる庶民的な酒場・酒飲食店のこと。店内ではテーブルとセットになっている椅子や、あるいは畳が敷いてある床上に座り飲食するのが一般的であるが、「立ち飲み」といわれる、カウンターの前に立って酒食する店もある。

35 蒲焼き

鰻や穴子・鱧などの魚類を背中から切り開いて、骨を取り出す。そして適当な長さに切って串にさして「たれ」をたっぷり付けて焼き上げる料理のこと。

36 天麩羅 (テン普拉)

魚・野菜などに水で溶いた小麦粉の衣をつけ、油で揚げた料理のこと。醤油などを使った「つゆ」(天麩羅つゆ)という汁に浸したり、塩をまぶして食べたりする。ポルトガル語が語源とされているが、日本人が好んで食べる料理の1つである。

37 蒲鉾

白身の魚の肉を細かくすりつぶし、片栗粉などを混ぜて味をつけ、練り上げたものを板につけて蒸した食品のこと。古くは儀式に用いていた。

38 心太 (ところてん)

水にさらしたテングサという海藻(藻)を煮溶かした汁をこして、木で作った型に流し込んで固めたゼリー状の食品のこと。「心太突き」という道具で突き出して、酢を混ぜた醤油(酢醤油)や辛子などをかけて食べる。

39 沢庵 (たくあん)

日の光で生干しにした大根を、糠と塩を加えて漬け、重石という大き目の石を上に乗せて作った漬物の1つ。江戸時代の沢庵という僧侶の名から名称を付けたといわれている。日本の多くの家庭で食べられる食品である。

40 鉄ちり

魚の1つで体内に毒を持つ「ふぐ」の鍋料理のこと。「鉄」は「鉄砲」の略で、「ふぐ」が持つ毒を例えた表現。「ちり」は「ちり鍋」のことで、薄切りの魚肉を熱湯につけると「ちりちり」と縮むことから名づけられた。

41 板前

料理店や旅館などの調理を職業とする専門家のこと。食材を切ったりする「まな板」からできた言葉で、関西地方では「板場」と呼ぶことがある。

42 赤飯

もち米に小豆を入れて蒸した飯のこと。「赤い色をした御飯」の意味からきた言葉で、先祖を祀ったりする時や祝い事がある時に赤飯を作る習慣がある。食べる時には飯の上にごま塩などをかけることが多い。

43 懐石料理

茶を飲む前に食べる軽い簡素な食事のこと。濃い茶を飲むと、空腹では胃に刺激が強すぎるので、それをやわらげて適度な状態しておくためのもの。もともとは仏教寺院(特に禅宗寺院)で、僧侶たちが修行の時に温かい小石を腹のあたり(懐という)に入れて空腹を我慢したことからきている。

44 おひたし

野菜のうち、ほうれん草や春菊などの青菜をゆでて、醤油や鰹節などをかけて食べる簡単な料理のこと。青菜を熱湯に「浸す」程度に軽くゆでることからきている。

45 鏡開き

毎年正月の行事の1つ。正月に供えた「鏡餅」を割って、汁に煮込んで食べることをいう。「鏡」は、供えた餅が古い時代に使われていた鏡に似て平たく丸いので、この名がついた。

46 おやつ (お八つ)

「八つ時」に食べる間食のこと。現在の午後2時から4時頃までが、昔の時刻の「八つ時」に相当するのでこう呼ばれ、現在では時刻に関係なく、3度の主食の合間に食べる菓子や飴類などの、簡単な軽食をいうことが多い。

47 江戸前

江戸湾（現在の東京湾）近くで取れる新鮮な魚介類のこと。江戸時代（17世紀～19世紀後半）に、江戸湾の鰻が新鮮で美味であると評判になり、江戸市民の間に人気が高まったことからこう呼ばれるようになった。

48 お愛想

飲食店などで使う言葉の1つ。客が飲食をすませ、店を出るときに飲食代として金を払うときに、店員などにかける言葉やその身ぶり。

49 押入れ

家屋の内部に備えられた戸や襖という仕切りで区切られた衣類・蒲団類などを入れておく場所のこと。

50 襖

日本の家屋の内部に作られた設備。部屋の区切りのために使われることが多い。木で組んだ平面に紙や布などを張り合わせて作る。寒さを防ぐ働きもある。

51 床の間

日本の家屋の内部の床を高くし、その正面に書画を飾り、下には花や置物などを置く場所のことをいう。古い民家などに備えられていることが多い。

52 書斎

家屋の内部の部屋の1つで、読書や書き物などをする場所のこと。アパートやマンションなどではなく、個人の持家に作られることが多い。

53 勝手口

家屋内部の台所（調理をし飲食する部屋のこと）で勝手という）に備えられた小さな出入り口のこと。たいていは家屋の裏側に当たる場所にあり、以前は、注文した品物を、商店の店員が家に配達する（出前などをする）際に、勝手口から届けることがあった。

54 縁側

日本の家屋の中にある座敷の外側に沿って作られた細い長方形の廊下のことをいう。庭のある家では庭に面して作られ、一般的には木目が入った板状のものが多い。

55 座敷

家屋の中で、来客に対応するために畳を敷きつめた部屋のこと。客間ともいい、客たちと共に、飲食をする宴会などの場所としても使われることもある。

56 敷金

日本では、賃貸住居に入居する際、家賃とは別に、家賃の数か月分の金を支払う習慣がある。その金のことを敷金といい、居住者が転居する時には返金されることがある。

57 ひさし

日本の家屋で、中心の棟の外側に向けて作られた小屋根のこと。窓や縁側、家の正面にある出入り口（玄関という）などに設けて、日よけや雨よけにした。

58 下駄箱

家屋の玄関に設けられた靴などの履物などをしまいこんでおく場所のこと。日本人は、家から出るときは玄関で靴類を履き、家に帰ってきた時は玄関で靴類を脱ぎ、家屋内に上がる習慣がある。その時、下駄箱から靴を出し入れする。

59 熊手

先がカギ形になっている竹製の道具で、落ち葉などをかき集めて掃除する時に使うもの。

60 長屋

家の棟を長く建て、横並びになっている平屋家屋のこと。または、数個の家が同じ棟に隣り合って住む家屋のことをいう。一般的に庶民の家屋として住まわれた。

61 網戸

夏などの季節に、網を張った正方形の板戸のことをいう。風通しをよくしたり、窓から入ってくる虫などを防ぐ働きをした。

62 蚊帳

蚊などの虫を防ぐために寝床の上に釣っておおう道具。麻や木綿などで作られ、以前は一般の家庭に多く使われていたが、現在は激減している。

63 湯たんぽ

冬の時期に、^{きんぞくせい}金属製の入れ物に湯を入れ、寝床などに入れて体や足を暖めた道具のこと。以前はよく使われていたが、現在、その数は減っている。

63 雨戸

家屋のまわりに設けられた戸のことで、たいていは板でできている。雨や^{しつげ}湿気、寒さなどの家屋内への侵入を防ぎ、また、^{ぼうはん こうか}防犯の効果もあった。

64 注連縄

^{しんせい}神聖な空間と他の^{せぞく}世俗的な空間を^{くかく}区画するために、^{しんぜん}神前などに張りめぐらす縄のこと。また、新年を迎えたとき、^{わざわ}災いを防ぐために玄関口に張ったりすることもある。

65 おじぎ

相手と^{きより}適当な距離をとって向かい合い、お互いに^{じょうたい}上体を折り曲げて頭を下げる^{れいぎきほう}礼儀作法のこと。頭の下げ方は相手との関係などで変わってくる。一般的には、^{としうえ}年上の相手や客などに対しては深く頭を下げる人が多い。

66 香典

^{そうしき}葬式で、死者の^{ししや}霊前に^{れいぜん}供える^{こう}香の代わりとする^{きん}金銭のこと。普通は、^{こうでんぶくろ}香典袋と呼ばれる袋に入れて供する。香典を受け取った家族（^{いぞく}遺族という）は、^{こうでんがみ}香典返しという^{へんれい}返礼をするのが一般的である。

67 名刺

^{こがた}小型の^{かみせいひん}紙製品に自分の^{じゅうしょ}氏名・^{かいしゃめい}住所・^{しごとじょう}職業や会社名などを記したもの。日本人は、^{めんだん}仕事上の^{ほうもん}面談や^{しよたいめん}訪問、また、^{ひと}仕事以外では、^{ひと}初対面の人に渡すことが多い。

68 正座

座敷などで、両足を内側に折り曲げて^{しせい}姿勢を正しくして座ること。正式な場面や儀式の時に正座で座ることが多い。

69 エスカレーターの立ち位置

多くの日本人は、駅などの^{こうきょう}公共の場に備えられている、^{じどう}機械による^{のぼり}自動の上り下り設備であるエスカレーターに乗る際には、^{さゆう}左右どちらかに立ち、^{かたがわ}片側を^あ空けておくことが多い。

70 頭をかく

一般的に日本人の多くは、自分がおかした^{しっぱい}失敗などに^は恥ずかしく思ったり、^て照れたりする時に、自分の頭を手でかく^{しくき}仕草をすることが多い。

71 清明心

古い時代の日本人が大切にした心のあり方のこと。他人や自分に嘘をつかず、自分が所属している共同体や集団に真心をつくす理想的な精神のことをさす言葉。

72 黄泉国

古い時代の日本人が想定していた死後の世界のことをいう。死者の魂は、比較的この世（現世）と近い場所にある黄泉国に行くと考えられていた。

73 イザナギ・イザナミ

日本の古代神話の主神で夫婦神。イザナギが夫でイザナミが妻。これらの神々は日本の国土やさまざまな神を生んだとされ、イザナギの娘が天照大神。

74 アマテラスオオミカミ（天照大神）

イザナギの娘とされている日本古代神話の女神。天皇家の祖先神でもある。太陽の神と仰がれ、現在の三重県の伊勢神宮という神社に祀られている。

75 神社

日本で信仰されてきたさまざまな神々を祀る場所であり、建物のこと。もともとは社といわれていたが、規模が大きくなり神社と呼ばれた。

76 神仏習合

外来の仏教という宗教と、日本で信仰されていた神々への信仰とが融合した日本人独特の宗教のあり方。神を祀る神社に仏を祀る寺院を建てた神宮寺などが神仏習合をよく示している。

77 大乘仏教

自分自身の修行よりも、多くの他者を救うことをめざす仏教の教えのことで、日本に伝わった仏教は大乗仏教である。

78 墓参り

先祖や家族などの魂を祀ってある墓と呼ばれる施設に参って、死者の霊をなぐさめるために手を合わせるなど、仏教式の作法で拝む行為や行事をいう。

79 位牌

死者の姓名や仏教上の名前である戒名を記した木の札のこと。普通、死者を祀る家屋内の仏壇という仏教式の壇に供えて立てておく。

80 檀家

仏教の信者が所属している寺院から見た信者とその家族のことをいう。檀家は所属している寺院に金銭や物品の寄付（布施という）を行い、寺院を経済的にも支えることがある。

81 数珠

仏教の儀式上の道具。仏像を礼拝するときや、葬式・墓参りなどの際に使う。ガラスや木製の玉を紐に長くつなぎ、手にかけて、あるいは揉んで拝む。

82 喪服

葬儀や喪中の時、人びとが着用する衣服のこと。普通は、薄い黒色などの服をみにまとう。喪服を着ることで、死者の霊をなぐさめ、残された家族（遺族）に哀悼の気持ちをあらわす。

83 喪中

死者の霊をなぐさめ、いたわる礼儀やその時間のこと。死者の遺族が一定期間、他の人々との交際などを避けて家にこもり、身を慎むことをいう。

84 世間

日本独特の人の世や人生、生活場面などをさす言葉。「社会」とは意味が異なり、日本で生まれ育った人であればだいたいのその範囲がわかるが、また曖昧でもある。

★練習問題

- (1) 冬の時期、以前は炭火すみびの、現在は広く電気ねつげんの熱源の上に木でできたやぐらを置いて布団をかけ、座ってその中に手足を入れて体を暖める器具きぐを何と呼ぶか。
① こうり ② すずり ③ こたつ ④ せっちん
- (2) 折りたたみのできる短い4本の脚がついた食卓で、形は一般的に丸いテーブルのことを何というか。
① あんか ② ついたて ③ あんどん ④ ちゃぶだい
- (3) 古くから日本では、便所べんじょ（トイレ）を何と呼んできたか。
① 厠かわや ② 勝手 ③ 床の間 ④ 襖
- (4) 日本で使われている、開け口に金かねがついて金銭を入れておく袋形ふくろけいの財布さいふのことを何というか。
① そでぐち ② むだぐち ③ がまぐち ④ にじりぐち
- (5) 日本では、葬式の際に死者に着物を着せるときに、この方向ほうこうを上にして着せることから、物事がうまくいかなくなることを「() 前まえになる」という。() に入る言葉は何か。
① 右 ② 左 ③ 表おもて ④ 裏うら
- (6) 家庭内で、金銭せつやくを節約・倹約けんやくしたり、副収入ふくしゅうにゅうなどを他の家族に内緒ないしょで貯めることを何というか。
① おめこぼし ② きんちやく ③ へそくり ④ そでのした
- (7) 日本で 雨が降った時に、さして雨をよける道具のことを「かさ」というが、その「かさ」の別の呼び名よびなに含まれないものはどれか。
① こうもりがさ ② じゃのめがさ ③ じんがさ ④ おりたたみがさ
- (8) 日本人が髪かみをすいたり、髪かみにさして飾かざりにする装身具そうしんぐを何というか。
① かすり ② おび ③ くし ④ かぶと
- (9) 日本で、物を包んで持ち運んだりする時に使う四角形の布状ぬいのものを何というか。
① はちまき ② さんだる ③ まんと ④ ふろしき
- (10) 小さなにぎり飯いを数個と、卵焼き・蒲鉾かまぼこや焼き魚などを箱はこに詰め合わせた弁当べんとうを一般的に何と呼んでいるか。
① 幕の内弁当 ② どんぶり弁当 ③ 日の丸弁当 ④ お好み弁当

- (11) 飯に水を加えて炊き込み、味噌などで味付けをして魚介類や野菜などを加えて食べる粥のことを何というか。
① さつまあげ ② せきはん ③ おじや ④ すいとん
- (12) 魚のマグロの刺身などにとろろをかけた料理のことを何というか。
① 田掛け ② す掛け ③ しる掛け ④ 山掛け
- (13) 一般的に、正月の料理や祝い事で出される、白身の魚の肉をすりおろしたものと卵を混ぜて味付けをして焼く。最後は渦巻状に巻いて食べる見た目が派手な色をした料理を何というか。
① かっぱまき ② だてまき ③ すまき ④ てっかまき
- (14) 屋敷内の中心となる棟や建物を何というか。
① ちゅうぼう ② どま ③ おもや ④ おおたな
- (15) お互いに、手と手を握り、挨拶することを日本では何というか。
① おじぎ ② うなづく ③ うでぐみ ④ あくしゅ
- (16) 一般的に、欧米の文化は「罪」の文化といわれるのに対し、日本は何の文化と指摘されているか。
① 恥 ② 道 ③ 天 ④ 礼
- (17) 旅行などで、行った先の名産品などを家族や友人たちに買って帰る贈り物のことを何というか。
① おはじき ② ひきでもの ③ もてなし ④ みやげ
- (18) 古くから、日本人の女性の美しさや、静寂で奥ゆかしい品性のことを何といつてきたか。
① にようぼう ② おくがた ③ やまとなでしこ ④ はいから
- (19) 日本で、食事をするときを使う箸の数え方は何か。
① 一枚 ② 一膳 ③ 一株 ④ 一組
- (20) 毎年、正月に作られる特別な料理のことを何というか。
① おせち ② おはぎ ③ かいせき ④ しょうじん
- (21) 水やお湯を入れて、手足や顔などを洗ったり、衣服の洗濯に使う容器のことを何というか。
① ぼん ② わん ③ たらい ④ きね

- (22) 酒などを入れる、陶器^{とうき}や金属、ガラスなどでできている容器のことを何というか。
① とっくり ② くら ③ ちょこ ④ ばけつ
- (23) 雨の時に着用する雨よけのマントのことを、日本では何というか。
① けさ ② かつば ③ たび ④ ずきん
- (24) 日本では、毎年正月になると家の玄関前に、木の飾りをする。その木の飾りのことを何というか。
① つらら ② かどまつ ③ つるべ ④ ががく
- (25) お互いに約束^{やくそく}をするときに、指^{ゆび}と指を引っかけあう行為^{こうい}を何というか。
① 指さす ② 指きり ③ 指折り ④ 指貫^ぬき
- (26) 日本人の会社員などが、会社の仕事上の目的で他の地方や都市に行くことを何というか。その期間はさまざまである。
① 出張^{しゅちやう} ② 転向^{てんこう} ③ 左遷^{させん} ④ 出世^{しゅっせ}
- (27) 竹の骨に紙などを張ってつくり、あおいで風を吹かし、涼む^{すず}小型の道具を何というか。
① うちわ ② ようじ ③ ちょうし ④ くまで

★解答・ワンポイント解説

- (1) 正解は③ ①は入れ物のこと。④は便所（トイレ）のこと。
- (2) 正解は④ ①は炭火などを入れて暖める暖房器具。②は家屋内にある仕切り具。③は古くからある油を入れた皿を使う照明具。
- (3) 正解は①
- (4) 正解は③ ①は袖口と書く。④は茶道で使われる茶を飲む小屋（茶室）に入る小さな入り口。
- (5) 正解は② 左前という。
- (6) 正解は③ ①は他人の失敗などを見逃したり、許したりすること。④は袖の下と書き、金品を贈りつける賄賂のこと。
- (7) 正解は③ ③は古い時代に戦乱でかぶったかぶりもの。
- (8) 正解は③
- (9) 正解は④ ④は風呂敷と書く。
- (10) 正解は① ③は飯に梅干が入っただけの弁当の俗称。
- (11) 正解は③ 雑炊のこと。
- (12) 正解は④
- (13) 正解は② 伊達巻と書く。色や形などが派手な食べ物。
- (14) 正解は③ ③は母屋と書く ①は厨房と書き、料理をする台所などのこと。④は大店と書き、大商店のことをいう。
- (15) 正解は④ ④は握手と書く。①は頭を下げる行為。②は相手に同意や賛意を示す時に頭を上下に動かす行為。③は腕組みと書く。
- (16) 正解は① 日本人は恥を重んじる文化とされてきた。
- (17) 正解は④ ③は相手や客を丁寧^{ていねい}に扱い、食事などを提供するすること。
- (18) 正解は③ ④は欧米風の服装や雰囲気^{ふんいき}のこと。
- (19) 正解は② ③は植木^{うえき}などの数え方。
- (20) 正解は① ④は魚や肉などを避けて野菜などを中心に食べる料理。
- (21) 正解は③
- (22) 正解は① ③は陶器製の酒を入れて飲む器。
- (23) 正解は② ④は頭をおおう布のこと。
- (24) 正解は② ①は冬に家の屋根に垂れてくる氷の柱。③は井戸の水をくむ桶のこと。
- (25) 正解は②
- (26) 正解は① ③は仕事上で失敗や損失を与えたりして、別の地位の低い職に代えられること。
- (27) 正解は① ③はとっくりの別名。

日本の文化・歴史

1 旧石器時代

きゅうせつきじだい
日本の最古の時代。いまだ日本列島は形成されておらず、大陸と陸続きの状態であったが、人々は打製石器などを使い、主に狩猟などを行い、移動生活をしていた。

2 縄文時代

じょうもんじだい
今からおよそ1万3000年前ほどから紀元前4世紀ぐらいまでの時代。日本列島が形成され、人々は磨製石器などで狩猟・採集などを行い、土器を製作、また、竪穴住居に暮らした。

3 弥生時代

きげんぜん せいきころ
紀元前4世紀頃から紀元3世紀頃までの時代。農耕が始まり、経済力が発展。さらに定住が進み、村が形成され、国家が誕生した。また、工夫された土器や農工具が製作された。

4 邪馬台国

やよいじだい しゅつげん
弥生時代に出現したとされる日本の古代国家。女王である卑弥呼が宗教的な力をふるって治め、中国との交流も行ったことなどが知られているが、その所在地はわかっていない。

5 古墳時代

こふんじだい
3世紀末から7世紀初めぐらいの時代。巨大な権力者らの墓である古墳が形成され、また、現在の近畿地方を中心に九州から東日本を支配した大和政権という国家が成立した。そして、この時代には大陸から仏教や儒教など、様々な文化が伝わった。

6 古墳

おか りょう
丘を利用したり、土を盛るなどして墳丘を築き、墓としたもの。土の表面は石（葺石という）でおおい、墳丘のまわりに濠をめぐらしているものもある。埋葬されている人々の多くは、大和政権の最高位にある大王や、大王を支える豪族と呼ばれた有力支配者などである。

7 奈良時代

へいじょうきょう
8世紀の時代。平城京（現在の奈良県奈良市）という都を中心に、律令制度というシステムで国家が運営され始めた。また、貴族と呼ばれた有力支配層を中心に、華やかな仏教文化が栄え、中国や朝鮮半島との交流も盛んであった。

8 平安時代

へいあんじだい
8世紀末から12世紀末までの時代。平安京（現在の京都市）という都を中心に、律令制度に基づく国家が、天皇を頂点として、貴族が補佐するという形式で栄えた。また、武士（武家）と呼ばれた軍事を専門とする人々が登場し、勢力を拡大した。

9 鎌倉時代

12世紀末から14世紀前半の時代。武士による政権が鎌倉（現在の神奈川県鎌倉市）に成り立った。これを鎌倉幕府といい、武家の最高位にあたる将軍に就任した源氏一族の源頼朝が開いた。鎌倉幕府は、その後の武家による政権（室町幕府・江戸幕府など）の先駆けとなった。

10 室町時代

14世紀前半から16世紀後半までの時代。武家の最高位にあたる将軍に就任した足利氏がという一族が、京都に室町幕府を開いた。室町時代の後半は「戦国の世」と呼ばれ、戦国大名が全国統一をねらって競い合った。

11 安土・桃山時代

16世紀後半から17世紀初めの時代。織田信長・豊臣秀吉らの大名が登場。秀吉による全国統一が実現した。また、庶民から大名層まで参加した華やかで新鮮な雰囲気を持つ文化が盛んとなった。

12 江戸時代

17世紀前半から19世紀後半の時代。大名である徳川家康による全国統一の結果、江戸（現在の東京都の中心部）に幕府を開いた（江戸幕府）。また、鎖国と呼ばれた海外との交流が制限される一方で、経済がさらに発展し、成熟した文化が栄えた。

13 明治時代

西暦1868年から1912年までの時代をさす。明治政府という新しい国家が誕生し、近代化と中央集権化を進め、欧米を中心とする文物が盛んにとり入れられた。また、芸術や教育・学問研究なども発展し、国民の生活もよりいっそう向上した。

14 大正時代

1912年から1926年までの時代。この時代は、引き続き近代化が進んだが、国内では「大正デモクラシー」と呼ばれる民主主義的風潮が広がり、立憲体制も充実化された。

15 昭和時代

1926年から1989年までの時代。この時代、日本は戦争の時代を迎え、アジア・太平洋などで多くの惨禍を経験した。敗戦国となった日本だが、戦後は民主主義と平和・経済の繁栄をめざす新しい国づくりに取り組んだ。

16 憲法十七条

7世紀初め、聖徳太子（厩戸王）が制定した道徳的な内容を持つ法令。主に仏教や儒教の影響を受け、「和の精神」などを強調した。

17 法隆寺

現在の奈良県斑鳩地方にある仏教寺院。ユネスコの世界文化遺産に登録されている著名な寺院建築で、聖徳太子の願いで建立された。金堂や五重塔は最古の建築物として知

られている。

18 大化の改新

7世紀後半に行われた政治改革。それまでの古い政治体制を改め、新しい律令制度に基づく新国家の建設をめざした。律とは古代の刑法、令は民法や行政法をさす。

19 東大寺

奈良時代の8世紀に、平城京付近に建立された仏教寺院。聖武天皇の願いによって建てられた。約16mの高さを持つ大仏や、国際色豊かな品々を納めている正倉院などがある。

20 校倉造

建築技法の1つ。柱を使わず、断面が台形や三角形の木材を「井」の字形に組み、壁面を構成する。東大寺正倉院は校倉造の最古で最大の建築物。

21 空海

平安時代、9世紀の仏教僧。中国に渡り仏教を学び、帰国後、日本に真言宗という仏教宗派を伝え、確立した。その他教育や芸術活動も活発に行った。

22 最澄

平安時代、9世紀の仏教僧。中国に渡り仏教を学び、帰国後、日本に天台宗という仏教宗派を伝え、確立した。京都近郊の比叡山という山に延暦寺を建て、天台宗の拠点とした。

23 貴族

律令国家における官僚であり、有力支配者層。律令国家では官僚たちに位が与えられており、そのうち上位5位以上の位を持つ者を貴族といった。主に天皇を補佐する立場にあったが、藤原氏のような貴族は政務を統括した。

24 藤原氏

古代律令国家の貴族。奈良時代には国家権力を握り、一族の繁栄を築いた。平安時代にはさらに天皇の政務を代わりに統括する役割を担い、絶大な勢力をほこった。

25 平等院

藤原氏が建立した仏教寺院。現在の京都府宇治市にある。平等院には著名な建物である鳳凰堂や、内部に仏像の「阿彌陀如来像」が置かれ、藤原氏の繁栄ぶりを示している。

26 元服

一般に、男子の成人式をさし、12歳頃から15歳にかけて行う儀式。知人の年上の人から烏帽子と呼ばれる帽子をかぶせられ、成人となった証として新たな名を授けられた。

27 武士(武家)

「兵」とも「侍」とも呼ばれる。武芸・戦闘・軍事を専門とする人々・集団であり、多くの一族が連合して武士団を形成した。武士団の中でも特に源氏一族と平氏一族が最高の家柄とされた。

- 28 **平清盛**
 最有力武士団である平氏一族の指導者。12世紀後半、政権を握り、平氏の繁栄をもたらした。また、中国との貿易にも積極的に取り組んだことでも知られている。
- 29 **源頼朝**
 最有力武士団である源氏一族の指導者。12世紀末、将軍に就任し、鎌倉幕府という武家政権を樹立、武士による全国支配の道を開いた。
- 30 **貞永式目（御成敗式目）**
 鎌倉時代の13世紀、鎌倉幕府の執権（将軍を補佐する職）をつとめた北条泰時が制定した武家初の法令。当時の武家社会の習慣や文化などをよく反映している。のちの武家による様々な法令に大きな影響を与えた。
- 31 **親鸞**
 鎌倉時代の仏教僧。初め天台宗を学んだが、多くの悩み（煩惱という）を自覚して仏に救われたいと願う人々こそ救われなければならないという「悪人正機」を説き、浄土真宗という新しい仏教宗派を開いた。
- 32 **琉球王国**
 現在の沖縄県に成立した独立王国。15世紀に尚氏が建国。首都は首里。那覇の港を拠点にアジア貿易を進め、繁栄した。
- 33 **足利義満**
 室町幕府を開いた足利尊氏の孫で、室町幕府3代将軍。幕府の諸制度を整備し、中国との貿易を開始した。また、文化も保護するなど、室町幕府の全盛期を築いた。
- 34 **鹿苑寺金閣**
 足利義満が建てた山荘を寺院としたもの。現在の京都市にある。金閣は、もとは金箔が張られていたのでこの名がある。
- 35 **観阿弥・世阿弥**
 室町時代に活躍した能（能楽）の大成者である父子。特に子の世阿弥は「幽玄」を基調とする能を芸術的に完成させた。
- 36 **慈照寺銀閣**
 室町時代に、室町幕府8代将軍足利義政が建てた山荘を寺院にしたもの。京都市にある。銀閣という建物は書院造という和風の住宅建築の様式をもっていることで著名である。
- 37 **御伽草子**
 室町時代に成立した庶民的な短編小説。内容は武家や僧侶、庶民の様々な姿を描いている。多くの日本人になじみ深い物語集である。代表作には『一寸法師』『物くさ太郎』『酒呑童子』などがある。

39 茶道

喫茶の風習に仏教宗派の1つである禅宗の作法や思想が取り入れられ、「わび・さび」を基調とした閑寂で味わい深い雰囲気の中で茶の場がもうけられる。16世紀後半の千利休によって完成された。

40 水墨画

墨の濃淡と描線の強弱で仏教の教えや風景や人物などを描く絵画の技法。鎌倉時代末から室町時代にかけて中国からとり入れられ、15世紀の雪舟によって完成された。

41 雪舟

室町時代の画家で、日本の水墨画を完成させたことで知られている。代表作は『四季山水図巻』。

42 織田信長

16世紀の戦国大名。尾張国（現在の愛知県）を拠点として全国統一を進めた。彼の新しい発想と機略に富んだ戦略は多くの日本人に知られている。

43 戦国大名

戦国の世に活躍した有力な武士の指導者たち。領国と呼ばれた拠点をもち、常に全国統一を目的として相互に争った。16世紀の末、豊臣秀吉が全国統一を実現し、戦国時代は終りをむかえた。

44 城下町

戦国時代から江戸時代にかけて発展した都市のこと。戦国大名が城郭（城）を中心に家臣団（部下である家臣のこと）や商工業者ら庶民を集めて住まわせ、計画的に建設した。現在も城下町から続く都市が各地に存在する。

45 門前町

寺院・神社の門の前などから成立・発展した都市のこと。人々の往来が激しく、市場などが設営され、商工業も盛んとなった。中部地方の長野市は善光寺の門前町から発達した。

46 堺

現在の大阪府堺市にあたる。15世紀後半からは海外貿易港としてにぎわい、会合衆と呼ばれた指導者が自治運営を行った。その繁栄ぶりは基督教の宣教師にも知られ、イタリアのヴェネツィアと比較され、注目された。

47 喧嘩両成敗

一般的には武士の習慣として知られている。理由にかかわらず、喧嘩・争いの際には、当事者双方を処罰するというもの。戦国大名が制定した分国法という法令にも規定されている。

- 48 **一休宗純**
いっきゅうそうじゆん
 室町時代の京都の大徳寺だいとくじの僧侶。禅宗をきわめ、主に一般庶民に教えを説いた。武家や支配者たちも教えを請うたので、大きな影響を与えた。
- 49 **徳川家康**
とくがわいえやす
 もとは「松平」の姓であったが、のち「徳川」に改めた。1600年の関が原せきがはらの戦いで勝利をおさめ、将軍職しゅうにんに就任、江戸に武家政権である江戸幕府を開いた。死後は、日光東照宮にっこうとうしやうぐう（現在の栃木県日光市）に霊が祀られている。
- 50 **江戸**
とうきやうと
 現在の東京都の中心部。もともとは15世紀に江戸城ちゆうしんぶがつくられたことから発展し、徳川家康が入城にゅうじやう、江戸幕府の拠点となった。18世紀には人口は100万人を越え、将軍の「お膝元」として大発展をとげた。1868年、東京とうきやうに改名された。
- 51 **三都**
さんと
 江戸時代に繁栄した日本の3有力都市ゆうりよくのこと。将軍の「お膝元」である江戸、天皇が居住し、伝統文化や工芸が盛んであった京都、「天下の台所」と呼ばれた大商業都市であった大坂（のち大阪）をさす。
- 52 **宿場町**
しゆくばまち
 特に江戸時代、大名や庶民（町人・農民）たちが往来した交通路である街道や港町に宿泊施設の宿屋などが作られ、宿場町として発展した。ただし、大名と庶民は身分が違うため、同じ宿屋には宿泊できなかった。
- 53 **飛脚**
ひきゃく
 書状や金品類、その他小荷物などを送り届ける業者のこと。江戸幕府が専用に使したものや、大名・庶民と、身分別に分類されていた。明治時代には郵便制度に代わった。
- 54 **藩**
はん
 江戸時代の大名の領国やその支配機構をさす言葉。藩の最高領主を藩主はんしゆといい、家臣は藩士という。藩を持つ大名間にも格付けがあり、将軍との関係から親藩・譜代・外様に分けられていた。
- 55 **将軍**
せいいたいしやうぐん
 もとは征夷大將軍といったが、鎌倉時代からは武家の総司令官・最高権力者をさすようになり、幕府という権力機構を作った。源氏や足利氏・徳川氏などが就任した。
- 56 **鎖国**
さこく
 江戸幕府が行った海外諸国との交流制限政策のこと。日本人の海外渡航禁止と外国船往來制限を柱とした。しかし、長崎や琉球王国、対馬（現在の長崎県対馬）などが海外への窓口となり、海外情報も摂取していた。

- 57 **西陣織**
にしじんおり
 京都市西陣の伝統工芸品の1つで、高級絹織物のこと。特に江戸時代に盛んとなり、のち各地にその技術が伝わった。
- 58 **二宮尊徳（金次郎）**
にのみやそんとく きんじろう
 19世紀後半、江戸時代末期の相模国（現在の神奈川県）の農民。飢饉など自然災害で荒れ果てた農村を復興させた指導者。勤勉・儉約を教え、彼の農村復興運動は報徳仕法といわれた。
- 59 **銭湯**
せんとう
 沸かした湯を浴槽に満たして入る浴場・風呂屋のこと。もともとは蒸し風呂から始まったが、江戸時代には湯の中に入る「湯屋」となった。庶民の娯楽の場ともなり、情報などが交換された。現在では家内での風呂が一般的になっているので銭湯の数は減っている。
- 60 **浮世絵**
うきよえ
 江戸時代、庶民的な版画によって広まった絵画の1つ。菱川師宣という画家が確立した。色彩も豊かで、19世紀には全盛期を迎え、女性・役者・相撲取り・風景などを題材に数多く描かれた。フランス絵画、特に印象派の画家たちに大きな影響を与えたことでも知られている。
- 61 **松尾芭蕉**
まつおぼしやう
 江戸時代の俳諧の専門家で、俳諧を芸術的に高めた。俳諧は、日本語を5句・7句・5句と書き並べて、必ず季節を表す言葉を入れて作る文芸のことである。芭蕉の作品としては、旅をしながら俳諧を作り、編集した俳諧集『奥の細道』が有名である。
- 62 **夏目漱石**
なつめそうせき
 明治時代から大正時代にかけて活躍した文学者。日本人の多くが読む小説家の1人である。代表作に『吾輩は猫である』『それから』『こころ』などがある。近代日本人の内面性を鋭く追求する文明批評も行った。
- 63 **芥川龍之介**
あくたがわりゆうのすけ
 20世紀前半に作品を残した作家。初めは歴史的題材をとりあげて、現実社会を理性的・知的に書き上げたが、のち、自己や社会が抱えている苦悩などを超現実的に描く作品になっていった。代表作に『羅生門』『鼻』『河童』などがある。彼の名を冠した「芥川賞」という、主として新人の小説家に与えられる文学賞がある。
- 64 **湯川秀樹**
ゆかわひでき
 日本の物理学者。1949年、日本人初のノーベル賞（物理学賞）を受賞した。また、世界的に著名な科学者であるアインシュタインらと核兵器廃絶などの平和運動に取り組んだことでも知られている。

65 歌舞伎

江戸初期に成立した演劇。舞台上で歌舞伎役者が音曲に合わせて台詞を発し、展開していく。作品のなかには歴史的な事件を題材にしたものもあるが、恋愛をテーマにしたものもあり、男性が女役を演ずる。この女役のことを「女形」という。

66 落語

舞台上で1人の話し手（落語家という）が、音曲を入れたりしながら、最後に「おち」をつけて、話をまとめて終える話芸。落語を演ずる場所を寄席という。庶民の喜怒哀楽などを題材とする作品が多く、日本人がよく知っている大衆芸能の1つ。

67 枯山水

禅宗の寺院などの庭を造る技法の1つ。普通は、水を使わずに砂と石で山水自然の様子を表現する。その静寂な美は日本人の精神に合致しているといわれている。特に有名な枯山水の庭園としては、京都の竜安寺石庭や大徳寺大仙院庭園などがある。

68 年賀状

毎年、正月の時期に、新年のあいさつとして、親族・友人たちに送り届ける書状のこと。たいいていは、「新年あけましておめでとうございます」「謹賀新年」などの表現が使われる。日本人は年賀状を受け取って、新しい年を迎えた喜びにひたる。

69 節句

季節ごとに定められた祝いの日のこと。江戸時代からは五節句を庶民も祝うようになった。五節句とは、人日（1月7日）・上巳（3月3日）・端午（5月5日）・七夕（7月7日）・重陽（9月9日）の5つの日である。

70 祇園祭

京都の祇園社（八坂神社）の祭礼のこと。15世紀の戦乱で一度中断したが、のち京都の住民たちが復活させた。車のついた台上に山に似せた物を乗せ、その山の上に刀などを立てた山鉾を巡行させる。現在は7月17日と24日に巡行が行われる。

71 結納

男女が、結婚を約束（婚約という）した証に、夫婦となる双方から金品を取り交わす儀式のこと。

72 打ちかけ

日本の結婚式に着られる花嫁（新婦という）の衣装。もともとは江戸時代の武家の婦人の正式な服装の1つであった。

73 三々九度

日本の結婚式で、夫（新郎という）と妻（新婦）が三つ組の杯という器で三度ずつ、合計九度酒を飲み交わすこと。日本式の結婚式では欠かすことのできない重要な儀式の1つである。

74 黒澤明

日本を代表する映画監督。1950年にはその作品『羅生門』でベネチア国際映画祭グランプリを受賞し、世界的名声を得た。その他の作品としては『生きる』『七人の侍』『影武者』などがある。

75 宮崎駿

現代日本を代表し、世界的な評価を獲得しているアニメーション映画製作者で監督・脚本家。『となりのトトロ』や『もののけ姫』、また『千と千尋の神隠し』などの作品がある。

76 手塚治虫

日本の漫画文化を高めた漫画家。その作品には現代社会や科学・人間の問題を批判的に描いたものもあり、その作風には文明批判的な要素も込められている。代表作品に『鉄腕アトム』『ジャングル大帝』『ブラックジャック』などがある。

77 交番 (交番所)

都市や町中に設けられている警察官のいる建物のこと。常時、警察官が配備されており、日本社会の安全の維持に貢献しているといわれている。派出所ともいう。

78 就活

就職活動の略。普通は、大学生の就職活動をさすが、広く求職をさす言葉。

★練習問題

- (1) 江戸時代、浮世草子といわれた小説を描いた文学者は誰か。
① 井原西鶴 ② 松尾芭蕉 ③ 菱川師宣 ④ 市川団十郎
- (2) 日本で、神仏に関する祭礼や供養のことを何というか。
① 巡礼 ② 富くじ ③ 縁日 ④ 講
- (3) 奈良時代や平安時代の国家官僚で、国家から5位以上の位を与えられて奉仕する有力者を何と叫んだか。
① 武士 ② 豪族 ③ 貴族 ④ 守護
- (4) 神々が集う高天原の中心の神であり、太陽神でもある天照大神を祀る三重県の神社は何か。
① 春日大社 ② 石清水八幡宮 ③ 鶴岡八幡宮 ④ 伊勢神宮
- (5) 奈良時代から16世紀後半にかけて、中央国家の有力支配者や地方の富裕層らが所有した大私有地制度を何と叫んだか。
① 荘園 ② 古墳 ③ 田荘 ④ 天領
- (6) 片手で「はさみ」「石」「紙」の形をお互いに出し合って勝負を決する遊びのことを何と叫んだか。
① あぐら ② せいざ ③ じゃんけん ④ あくび
- (7) 学生時代の友人や師たちと定期・不定期に集まり、学生時代などの思い出話や、近況などをお互いに話し合い、旧交をあたためる会を何と叫んだか。
① 自治会 ② 旧友会 ③ 生徒会 ④ 同窓会
- (8) 古くから日本人が重視してきた、自分が所属している共同体や集団に対する嘘偽りのない朗らかな心を何と叫んだか。
① 和心 ② 清明心 ③ 羞恥心 ④ 親切心
- (9) たいていは24時間の営業を行い、緊急に必要な品物でも手軽に購入できるような、小型の商店を日本人は何と叫んでいるか。
① シネコン ② スナック ③ デパート ④ コンビニ
- (10) ヨーロッパで音楽を学び、1972年アメリカのボストン交響楽団常任指揮者に就任、現在も欧米の著名なオーケストラの指揮をつとめる日本人音楽家は誰か。
① 小沢征爾 ② 服部良一 ③ 芥川也寸志 ④ 山本直純

- (11) 日本の古い民家の中に住む、幼児の姿をした妖怪は何と呼ばれているか。それが住みついている家は繁栄すると信じられている。
 ① なまはげ ② ざしきわらし ③ かつば ④ のっぺらぼう
- (12) 特撮と呼ばれる大胆で豪快な映像撮影技法にすぐれ、『ゴジラ』や『ウルトラマン』などの作品で有名な映画製作者で監督は誰か。
 ① 宮崎駿 ② 黒澤明 ③ 円谷英二 ④ 北野武
- (13) 『朝日新聞』誌上に長期にわたり連載した『サザエさん』という日本のどこにでもありそうな家庭の日常を描き、人気を博した漫画家は誰か。
 ① 手塚治虫 ② 長谷川町子 ③ 白土三平 ④ 池田理代子
- (14) 沖縄県特産の焼酎で、米や粟を発酵させ、蒸留して製造する酒類を何というか。
 ① にごり ② どぶろく ③ あわもり ④ ごーや
- (15) 2011年のサッカーアジア大会で優勝した日本の代表選手で、大会後、イタリアサッカー1部リーグ（セリエA）の強豪クラブのインテル＝ミラノに移籍したDF（ディフェンダー）は誰か。
 ① 本田圭祐 ② 長谷部誠 ③ 長友祐都 ④ 香川真司
- (16) 日本の結婚式の1つの儀式で、家族・友人らが一同に集まった場で飲食をしながら、新郎新婦（夫婦となった男女のこと）を祝福することを何というか。
 ① かどで ② ひろうえん ③ おみあい ④ みこしをかつぐ
- (17) 全国高校野球選手権大会が行われる野球場はどこか。毎年春と夏に開催される。
 ① 甲子園球場 ② 神宮球場 ③ 東京ドーム球場 ④ 後樂園球場
- (18) 他の夫婦の妻に対する呼び名で、自分よりも年上や目上の人の妻などの尊称を何というか。
 ① 亭主 ② 檀那 ③ 奥方 ④ 女房
- (19) 劇場などの新築や改築を祝って行う最初の芸能や興業などのことを何というか。
 ① 桧舞台 ② 柿落とし ③ 幕の内 ④ お蔵入り
- (20) 日本の神社の参道の入り口に立てられている門のことを何というか。
 ① 脚立 ② 玄関 ③ 鳥居 ④ 祠
- (21) 日本人が行う遊びの1つで、欧米のトランプに似た絵や文字を書いた札のことを何というか。
 ① こま ② かるた ③ さいころ ④ いご
- (22) これまでにノーベル文学賞を受賞した日本人の作家は誰か。
 ① 井上ひさし ② 三島由紀夫 ③ 大江健三郎 ④ 遠藤周作

- (23) 日本のおおずもうの本場所が開催される都市はどこか。
- ① 金沢 ② 札幌 ③ 神戸 ④ 福岡
- (24) 三味線の伴奏により節をつけて語る庶民的な芸能は何か。主として「義理」と「人情」を語って聞かせる。
- ① 能 ② 詩吟 ③ 浪曲 ④ 漫才
- (25) 日本の庶民が担う民間伝承や風習・信仰を研究し、民俗学という学間を確立した学者は誰か。
- ① 柳宗悦 ② 西田幾多郎 ③ 吉野作造 ④ 柳田国男
- (26) 物語の登場人物や場面を絵に描き、抑揚をつけて語り見せる庶民の娯楽を何というか。以前は子どもたちの楽しみの1つであったが、現在は激減している
- ① 紙芝居 ② 講談 ③ 影絵 ④ 絵馬

★解答・ワンポイント解説

- (1) 正解は① ②は江戸時代の俳諧を芸術として高めた人物。③は浮世絵を確立した。④は歌舞伎役者。
- (2) 正解は③ ①は神社や寺院に出かける参詣さんけいなどのこと。②は江戸時代の賞金あて興行。
- (3) 正解は③ ①は軍事の専門集団。④は鎌倉時代から室町時代の有力武士の呼び名。
- (4) 正解は④ ①は奈良県にある藤原氏の神社。②は京都府の神社。③は鎌倉にある神社。
- (5) 正解は① ③は大和政権の大王家の所有地。④は江戸幕府の領地。
- (6) 正解は③ ①は両足りょうあしを組んで座ること。②は背筋せすじを伸ばして両足を折り曲げて座ること。④は眠くなつたとき、口をあけてする呼吸こきゅうのこと。
- (7) 正解は④ ①は町内ちやうないの居住民きよじゆうみんの会。③は小中高生の代表者の会。
- (8) 正解は② 清明心は古代の日本人が重視した心のあり方。③は恥かしく思おもう心。
- (9) 正解は④ コンビにはコンビニエンスストアの略。全国的なチェーン店がほとんど。
①はシネマ=コンプレックスのことで、映画館を中心えいがかんに多くの娯楽施設ごらくしせつが入っている建物などのこと。②は仕事しごと帰りなどに立ち寄って酒食しうじきやカラオケで歌うたったりする店のこと。
③は大量販売たいりやうはんばいをする大型店おおがたてんのこと。
- (10) 正解は① ②は昭和時代初期しやうしから活躍したジャズ風の音楽作品おんがくさくひんを作った作曲家さつきよくか。④は昭和時代後期にテレビなどで活躍した音楽家で作曲家。
- (11) 正解は② ①は秋田県などで行われている儀式で、家々いえいえを訪おもれる「神の使い」のこと。子どもの成長せいちやうを願うために子どもに呼びかける。③は古くから伝えられてきた川や池などに住むとされる想像上そうぞうじやうの動物どうぶつ。頭しらに皿さらをもっている。④は顔めだけあつて目鼻口めはなぐちがない妖怪ようかい。
- (12) 正解は③。①は現代アニメーションの製作者で監督・脚本家。②は映画監督。④は現代げいのうじんの芸能人で映画監督。
- (13) 正解は② ①は『鉄腕アトム』などの作品がある漫画家。③は『カムイ伝』などで知られている漫画家。④は『ベルサイユのばら』などの作品がある漫画家。
- (14) 正解は③ ②は濁り酒にごのこと。④は沖縄県などでとれるウリ科の植物。
- (15) 正解は③ ①はロシアのサッカークラブに所属。②と④はドイツのクラブに所属している(2011年2月現在)。
- (16) 正解は② ①は家いえを離れて暮らしたり、新しい生活を始めること。③は結婚げんていを前提として、人かいを介して会って食事や歓談かんだんなどをすること。
- (17) 正解は① 甲子園球場は兵庫県西宮市ひやうごけんにしのみやしにある。②は東京にある球場。プロ野球球団きやうだんの東京ヤクルトスワローズの拠点でもあり、東京の大学野球だいがくやまぎゅうの球場としても使用されている。③はプロ野球球団の東京読売ジャイアンツよみうりの拠点となっている球場。④は東京ドーム球場の以前の名称。

- (18) 正解は③ ①②は夫に対する呼び名。④は妻に対する呼び名だが、夫が自分の妻のことを呼ぶときの^{めいしやう}名称である。
- (19) 正解は② 「^{こけら}柿」とは、材木を切るときに出る木の^{こま}細かい片のこと。新築・改築工事の最後の作業で、床や^{やね}屋根などの「柿」を^{はら}払い落としたことから言われるようになった
- (20) 正解は③ 鳥居は神に^{そな}供えた^{にわとり}鶏の止まり木のこと。鳥が居やすい場所という意味でもあるとされている。②は家の出入り口。④は神を^{まつ}祀った小さな施設や建物のこと。
- (21) 正解は② かるたの語源はポルトガル語とされている。
- (22) 正解は③ 大江健三郎は1968年にノーベル文学賞を受賞した^{かわばたやすなり}川端康成に次いで、1994年に受賞した。
- (23) 正解は④ 毎年12月に開催され、^{きゆうしゅう}九州場所といわれる。
- (24) 正解は③ ④は舞台上などで1人、もしくは複数の人数で^{おもしろ}面白おかしく話し、歌い、^{きげき}喜劇などを演じる庶民的な芸能。
- (25) 正解は④ ①は庶民的な工芸品を高く^{ひやうか}評価した^{みんげい}民芸運動の指導者。②は日本独特の^{どくとく}哲学をつくりだした^{てつがくしや}哲学者。③は「^{みんほんしゆぎ}民本主義」という^{こくみん}国民の^{けんりこうじやう}権利向上のための^{せいじりろん}政治理論を作り出した大正時代から昭和時代初期の^{せいじがくしや}政治学者。
- (26) 正解は① ②は舞台などで、歴史や戦乱などを題材に語り聞かせる^{こうみやう}巧妙な^{わじゆつげい}話術芸。④は^{きがん}祈願などのために寺院・神社に^{ほうのう}奉納した^{えい}絵入りの^{ふだ}札・^{がく}額のこと。

日本文化

1. 到達目標

日本で生活する上で知っておくべき常識、マナー等を理解、習得する。

2. 講義内容

- ①冠婚葬祭の風習
- ②季節の行事
- ③日本の会社の仕組み
- ④社会の仕組み

3. 教材内容

別紙参照

4. 授業効果検証

①受講者数

1年生 38名

②目標達成状況（学期成績により判断）

十分達成できた	24名
不十分だが及第点	12名
できていない	2名

③今後の対策

この授業で取り扱った内容は、日本での就職を希望する留学生にとっては必ず知っておかねばならない事柄ばかりである。特に会社組織の仕組み、納税の義務、年金制度、社会保険などは学生生活とはあまり関係のないことなので、強く意識することが難しい。しかし、日本で生活するための収入や支出をしっかりと算出しておかないと、留学生として将来像や目標を正確にイメージすることができない。したがって、まだ十分に理解できていない留学生には、就職後「こんなはずではなかった」と思わせないようにするために、卒業の直前に再度徹底させるための資料配布は行ないたい。

以上

「留学生就職準備講座」レッシンプラン

課題⑨ : 日本文化 1

指導目標 : 日本で生活する上で知っておくべき常識、マナー等を理解させる

所要時間 : 90分

使用教材 : プリント教材

時間	指導項目・手順	指導重点	方法	内容
5分	導入 冠婚葬祭について 本国の事情を聞いて みる	日本の事情への 関心を高める	発問	複数国の学生に聞いてみる
15分	日本の慶事(冠婚) の基本を説明	母国との違いを理 解させる(祝儀の 金額など)	講義	招待状への返信の仕方から 服装、列席の仕方、食事の いただき方など、慶事の基本 事項を具体的に説明
10分	日本の弔事(葬儀) の基本を説明	母国との違いを理 解させる	講義	服装、列席の仕方、焼香の 仕方など、弔事の基本事項 を具体的に説明
15分	葬儀参列の実際	実際にできるように なる	ロール プレイ	仏式、神式、キリスト教式の 礼拝の仕方をそれぞれ行う
	休憩			
15分	日本の主な季節の 行事の説明	年中行事を覚えさ せる	講義	正月から大晦日まで
10分	年賀状の説明	意味と書き方を 理解させる	講義	元旦と元日の違いなど
15分	年賀状の作成	相手により内容が 違ってくることを 理解させる	実習	実際に投函するものを作成
5分	まとめ	要点チェック	発問	それぞれの項目について 最低限知っていなければ ならない項目の理解度を 確認する

日本語&日本文化体験

1. 到達目標

日本で就職するためには、日本社会や日本人との人間関係への適応力をつけなければならない。そのためには日本語の特質や日本人の生活様式を肌で感じ、それらを理解する必要がある。そこで、今までの日本留學生活の中での体験を題材とし、そこから何を学んだかを発表することを通じ、理解を深めることを目的とする。

2. 講義内容

別紙参照（2種類：1年用&2年用）

3. 弁論内容（1年）

別紙参照

4. 研究内容（2年）

別紙参照

5. 1年「日本語弁論大会」効果検証

（1）日本語弁論大会参加者数

1年生 37名

（2）調査結果

別紙参照

（3）目標到達状況（弁論大会を顧みて担当講師が判断）

目標を達成できた 17名

不十分だが及第点 15名

できていない 3名

（4）検証（採点基準は別紙採点表参照）

①所要時間（5点満点）

5点 26名

4点 10名

3点 1名

0～2点 0名

37名中26名が5分以上の弁論を行なった。そして10名が4分台、1名が3分台であった。途中で止まった場合はタイマーも止めたので、ほぼ正味の時間の測定をしている。人前でしゃべる経験の少ない学生がほとんどであることを考慮すれば、十分な結果である。

②テーマ（5点満点）

4点 14名

5点 18名

3点 5名

0～2点 0名

日本人が日頃気付かないたくさんのテーマが発表された。例えば、

- ・韓国人が食事で一番大切にしている要素は滋養強壮（日本では料理も見た目の美しさが重要）だから、韓国では食用犬が存在する
- ・日本発“オタク文化”の変遷と外国への影響
- ・出された料理を全部食べようとする日本人と残そうとする中国人は、ともに相手に感謝を表わしている
- ・日本では中年男性の自殺が多いが、中国では若い女性が多い理由
- ・日本の外来語は元の言語の意味とかなり違う
- ・韓国では冠婚葬祭時でも伝統衣装を着る人はほとんどいない
- ・尖閣諸島を中国の領土だと思っている中国の若者は少ない
- ・結婚のお祝金は日本では奇数金額だが、台湾では偶数金額が常識
- ・中国語の漢字と日本語の漢字では全く意味の異なるものがある
 - 「勉強する」⇒中国語では「無理をする」の意
 - 「大丈夫」⇒中国語では「大人」の意
 - 「汽車」⇒中国語では「車」の意

- ・“割り勘”が良いと思っているのは日本人くらいだ

他にも、日本人の人間関係の希薄さに違和感を覚える内容の弁論を多く耳にした。例えば、

- ・自宅に友人を招くことはほとんどない
- ・電車内で老人や体の不自由な方に席を譲ろうとする人はほとんどいない

などである。

③展開（5点満点）

5点 4名

4点 19名

3点 14名

0～2点 0名

すべての弁論がそれぞれの学生の体験に基づく内容であったので、聞き手としては大変興味深かった。しかし、中にはテーマと内容がずれていたたり、関連性の薄いものがあつたのが残念であった。

④テクニック（4点満点）

4点 7名

3点 14名

2点 14名

0～1点 2名

今回の弁論大会では、できるだけ聴衆に語りかけることを課題の1つとしたため、原稿から目を離し、しゃべっていた学生には3点以上の点数をつけた。そして、さらに工夫が見られた学生は4点とした。逆にほとんど原稿に目をやり、前を見ていない学生は話し方に工夫が見られても2点、ただ原稿を読むだけの場合は1点とした。その意味では過半数の学生が3点以上取れているので、成果があったといえる。

⑤質疑応答（1点）

質問に対して的確に答えていたので、全員1点とした。

(5) 1年「日本語弁論大会」における今後の課題

①日本人学生への国際化教育

日本で「グローバル教育」が叫ばれて久しいが、ここに来て日本人学生の国際化への意識の低下が問題になっている。留学生を受入れる側の学生が魅力的でなかった場合、いくら指導者が国際化の重要性を説いても留学生の心に響くはずがない。同世代の学生同士の交流こそが将来の国際的な友好関係を築くことができる。日本は今まで「世界から学ぶ」ための教育をしてきたが、今はもうそういう時代は過ぎ去り、「世界に発信する」教育が求められている。

②プログラムの目的の浸透

今回の「日本語弁論大会」を開催するにあたり、留学生にその目的をしっかりと理解させたつもりであったが、事後アンケートを見ると期待したほどの成果が見られなかった。その対策が次の③④である。

③アイコンタクトの徹底

今回事前に説明した準備方法、つまり原稿を作成するのではなく、話の展開を箇条書きにして構成や流れ、強調点をメモする程度にして、壇上ではそのメモを確認しながら、出来るだけ聞いている人に語りかけるようにすることになっていたが、それが徹底できなかつたので、来年はそれをさせたい。

④聴く側の態度

今回の「日本語弁論大会」の目的の中に、「他の人の弁論から新しい情報を出来るだけ多く収集すること」があったが、それがうまくできなかった。来年はそれを徹底するために、聞いている留学生も審査員としてお互いを審査させる方法を取りたい。当然採点表に弁論内容記入欄を設けるつもりである。

⑤全校行事とし、多くの日本人に聴いてもらう

今回でこの「日本語弁論大会」が十分見るに耐えられるものであることがわかった。来年は是非より多くの先生や日本人学生に見ていただくための場面設定をしたい。

6. 2年「研究レポートA」効果検証

(1) 「研究レポートA」提出者数

2年生 12名

(2) 調査結果

別紙参照

(3) 目標到達状況（「研究レポートA」を読んで担当講師が判断）

目標を達成できた 5名

不十分だが及第点 4名

できていない 3名

(4) 検証

①課題1（日本語に関する問題への取り組み）について

本校入学当時、日本語学校で習った日本語と日常生活で実際に使われている日本語の違いに戸惑った学生が多かったようだが、学校内外で日本人と会話する機会が増えるにつれて、徐々に慣れていったようだ。

また、日本の漢字にも慣れ、繁体字や簡体字で書く学生はほとんど見られなくなった。

②課題2（日本人との人間関係や生活習慣の違いへの対応）について

母国の人々との違いから、「日本人に見習いたい」という意見よりも「日本人はおかしい」という意見のほうが圧倒的に多かった。この原因は2つある。ひとつは留学生が日本人と深くつきあうといった経験を持てなかったこと、もうひとつは日本人が外国人から見習われるような行動をとっていないことが挙げられる。

ただし、それぞれの留学生が母国と日本の違いについてしっかり認識できていること、“郷に入れば郷に従え”という考え方が身についていることは何よりの救いである。

以上